

令和4年度

厚木市決算審査意見書

一般会計・特別会計

基金運用状況

厚木市監査委員

令和5年8月16日

厚木市長 山口 貴裕 様

厚木市監査委員 石井 勝

厚木市監査委員 渡邊 毅弘

厚木市監査委員 渡辺 貞雄

令和4年度厚木市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況
の審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定に基づき、審査に付された令和4年度厚木市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類並びに令和4年度の基金の運用状況を示す書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

目 次

| | | |
|----|-----------------|-----|
| 第1 | 監査等の種類 | 5 |
| 第2 | 審査の対象 | 5 |
| 第3 | 審査の期間 | 5 |
| 第4 | 審査の方法 | 5 |
| 第5 | 審査の結果 | 5 |
| 第6 | 決算の概要 | 6 |
| 1 | 決算収支の状況 | 6 |
| 2 | 普通会計における財政指標の状況 | 9 |
| 3 | 市債の状況 | 1 2 |
| 4 | 財政調整基金の状況 | 1 3 |
| 5 | 一般会計 | 1 4 |
| | （1）決算収支の状況 | 1 4 |
| | （2）歳入の状況 | 1 5 |
| | （3）歳出の状況 | 3 1 |
| 6 | 特別会計 | 4 2 |
| | （1）決算収支の状況 | 4 2 |
| | （2）歳入・歳出の状況 | 4 4 |
| | ア 公共用地取得事業特別会計 | 4 4 |
| | イ 後期高齢者医療事業特別会計 | 4 7 |
| | ウ 国民健康保険事業特別会計 | 5 0 |
| | エ 介護保険事業特別会計 | 5 3 |
| 第7 | 財産の状況 | 5 6 |
| 1 | 公有財産 | 5 6 |
| | （1）土地及び建物 | 5 6 |
| | （2）物権（地上権） | 5 6 |
| | （3）有価証券 | 5 6 |
| | （4）出資による権利 | 5 6 |
| 2 | 物 品 | 5 6 |
| 3 | 資金積立基金 | 5 7 |
| 第8 | 定額資金運用基金運用状況 | 5 8 |
| 1 | 出産費用貸付基金 | 5 8 |
| む | す び | 5 9 |

(注)

1 文中及び表中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入してある。このため計数が一致しない場合がある。

2 文中に用いる「ポイント」は、パーセンテージ間の単純差引数値である。

3 文中及び各表中の符号の用法は、次のとおりとした。

| | | |
|-----|-------|---------------------|
| 0.0 | | 該当数値が0又は単位未満 |
| — | | 該当数値がない又は算出不能 |
| △ | | 負数 |
| 著増 | | 算出結果が1,000%以上増加したもの |
| 著減 | | 算出結果が1,000%以上減少したもの |
| 皆増 | | 前年度に数値がなく全額増加したもの |
| 皆減 | | 当年度に数値がなく全額減少したもの |

第1 監査等の種類

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定に基づく審査

第2 審査の対象

令和4年度厚木市一般会計歳入歳出決算

令和4年度厚木市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算

令和4年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

令和4年度厚木市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

令和4年度厚木市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

令和4年度厚木市一般会計・特別会計歳入歳出決算事項別明細書

令和4年度厚木市一般会計・特別会計実質収支に関する調書

令和4年度厚木市財産に関する調書

令和4年度定額資金運用基金運用状況書

(厚木市出産費用貸付基金運用状況書)

第3 審査の期間

令和5年7月11日から令和5年8月9日まで

第4 審査の方法

審査に当たっては、各会計の歳入歳出決算書、同決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、計数は正確に表示されているか確認するとともに、関係諸帳簿及び証書類と照合し、併せて例月出納検査及び財務監査の結果を参考に審査した。

定額資金運用基金の運用状況については、計数の確認及び管理・運用が確実、効率的に行われているかを審査した。

第5 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、同決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿等と照合審査した結果、正確なものと認められた。

定額資金運用基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿類と符合し、正確であり、管理・運用は適正であると認められた。

第6 決算の概要

1 決算収支の状況

一般会計及び特別会計の決算収支の状況は、次のとおりである。

【決算収支の状況】

(単位：円・%)

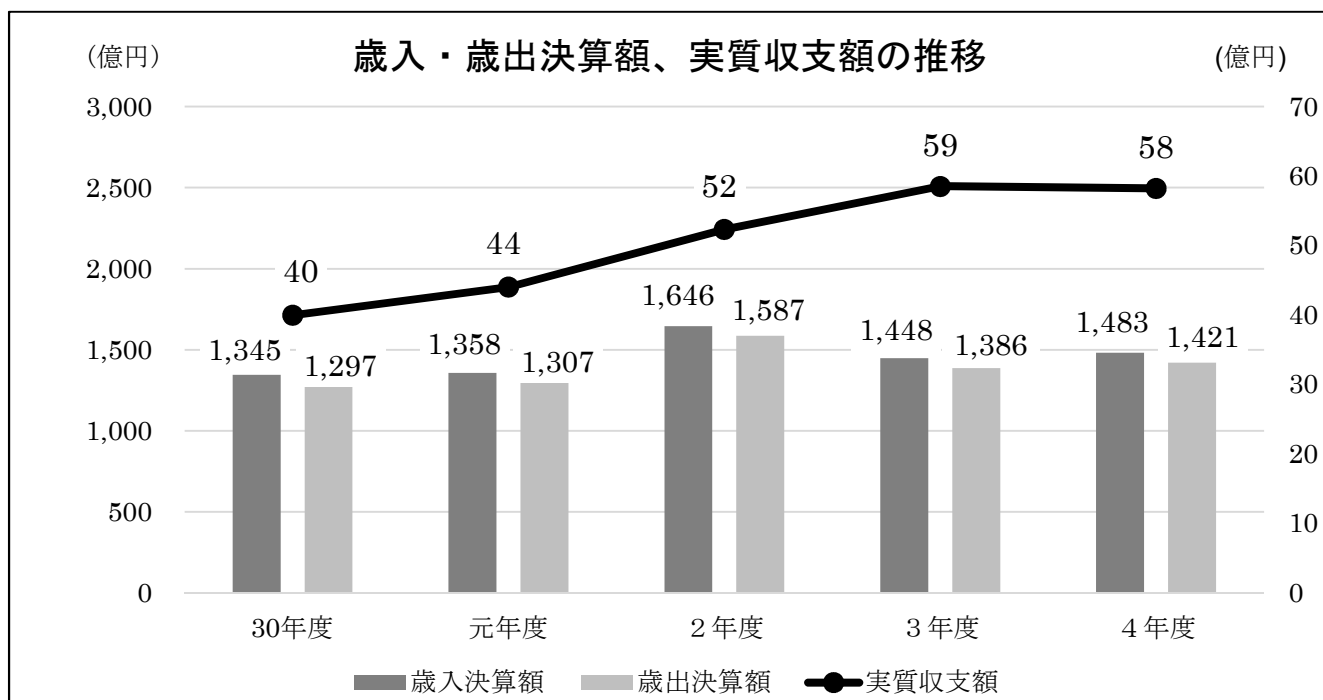
| 区 分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|----------------------------|-----------------|-----------------|---------------|------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予 算 現 額 (A) | 151,758,554,651 | 147,687,301,064 | 4,071,253,587 | 2.8 |
| 歳 入 決 算 額 (B) | 148,254,396,667 | 144,812,600,358 | 3,441,796,309 | 2.4 |
| 歳 出 決 算 額 (C) | 142,052,599,733 | 138,646,849,506 | 3,405,750,227 | 2.5 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支)(B-C) (D) | 6,201,796,934 | 6,165,750,852 | 36,046,082 | 0.6 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 379,404,275 | 312,879,865 | 66,524,410 | 21.3 |
| 実 質 収 支 額 (D-E) (F) | 5,822,392,659 | 5,852,870,987 | △30,478,328 | △0.5 |
| 単年度収支額 (G) | △30,478,328 | 619,655,545 | △650,133,873 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入148,254,396,667円、歳出142,052,599,733円である。

決算額を前年度と比較すると、歳入で3,441,796,309円(2.4%)、歳出で3,405,750,227円(2.5%)増加している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は6,201,796,934円となり、翌年度へ繰り越すべき財源379,404,275円を控除した実質収支額は5,822,392,659円である。

単年度収支額は、30,478,328円の赤字となっている。



【歳入歳出決算総括表】

(単位：円)

| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出差引額 (形式収支) | 翌年度繰越 財源額 | 実質収支額 |
|---------------|-----------------|-----------------|-------------------|--------------|---------------|
| 一般会計 | 106,087,113,443 | 100,521,107,813 | 5,566,005,630 | 379,307,777 | 5,186,697,853 |
| 特別会計 | 42,167,283,224 | 41,531,491,920 | 635,791,304 | 96,498 | 635,694,806 |
| 公共用地 取得事業 | 1,533,554,155 | 1,533,457,657 | 96,498 | 96,498 | 0 |
| 後期高齢者 医療事業 | 3,399,998,625 | 3,360,334,772 | 39,663,853 | 0 | 39,663,853 |
| 国民健康 保険事業 | 20,999,328,985 | 20,937,230,635 | 62,098,350 | 0 | 62,098,350 |
| 介護保険 事業 | 16,234,401,459 | 15,700,468,856 | 533,932,603 | 0 | 533,932,603 |
| 合計 | 148,254,396,667 | 142,052,599,733 | 6,201,796,934 | 379,404,275 | 5,822,392,659 |

【歳入歳出純計決算総括表】

(単位:円・%)

| 区 分 | 歳 入 | | 歳 出 | | 純計決算歳入 歳出差引額 (A) - (B) |
|----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|------------------------------|
| | 決算額 (a) | 純計決算額(A) (a) - (b) | 決算額 (a) | 純計決算額(B) (a) - (b) | |
| | 重複計算 控除額(b) | | 重複計算 控除額(b) | | |
| 一 般 会 計 | 106,087,113,443 ----- 48,979,711 | 106,038,133,732 | 100,521,107,813 ----- 4,597,948,352 | 95,923,159,461 | 10,114,974,271 |
| 特 別 会 計 | 42,167,283,224 ----- 4,597,948,352 | 37,569,334,872 | 41,531,491,920 ----- 48,979,711 | 41,482,512,209 | △3,913,177,337 |
| 公 共 用 地 取 得 事 業 | 1,533,554,155 ----- 114,620,545 | 1,418,933,610 | 1,533,457,657 ----- 48,979,711 | 1,484,477,946 | △65,544,336 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 | 3,399,998,625 ----- 568,146,668 | 2,831,851,957 | 3,360,334,772 ----- 0 | 3,360,334,772 | △528,482,815 |
| 国 民 健 康 保 険 事 業 | 20,999,328,985 ----- 1,432,810,139 | 19,566,518,846 | 20,937,230,635 ----- 0 | 20,937,230,635 | △1,370,711,789 |
| 介 護 保 険 事 業 | 16,234,401,459 ----- 2,482,371,000 | 13,752,030,459 | 15,700,468,856 ----- 0 | 15,700,468,856 | △1,948,438,397 |
| 合 計 | 148,254,396,667 ----- 4,646,928,063 | 143,607,468,604 | 142,052,599,733 ----- 4,646,928,063 | 137,405,671,670 | 6,201,796,934 |
| 前 年 度 合 計 | — | 140,378,834,209 | — | 134,213,083,357 | 6,165,750,852 |
| 増 減 | — | 3,228,634,395 | — | 3,192,588,313 | 36,046,082 |
| 増 減 率 | — | 2.3 | — | 2.4 | 0.6 |

一般会計と特別会計相互間の繰出金・繰入金の重複額を控除した純計決算額を前年度と比較すると、歳入が3,228,634,395円(2.3%)、歳出が3,192,588,313円(2.4%)増加している。

2 普通会計における財政指標の状況

普通会計における財政指標の状況・推移は、次のとおりである。

※普通会計とは、総務省が実施する地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分である。

本市においては、一般会計、公共用地取得事業特別会計等の一部を合算したものである。

●財政力指数

財政力指数は、1.18で、前年度と比較すると0.02ポイント低下している。

単年度でみた同指数は、1.15で、前年度と比較すると0.03ポイント上昇している。

これは主に、個人市民税、固定資産税の増加に伴い、基準財政収入額が増加したこと、また、包括算定経費の減少に伴い、基準財政需要額が減少したことによるものである。

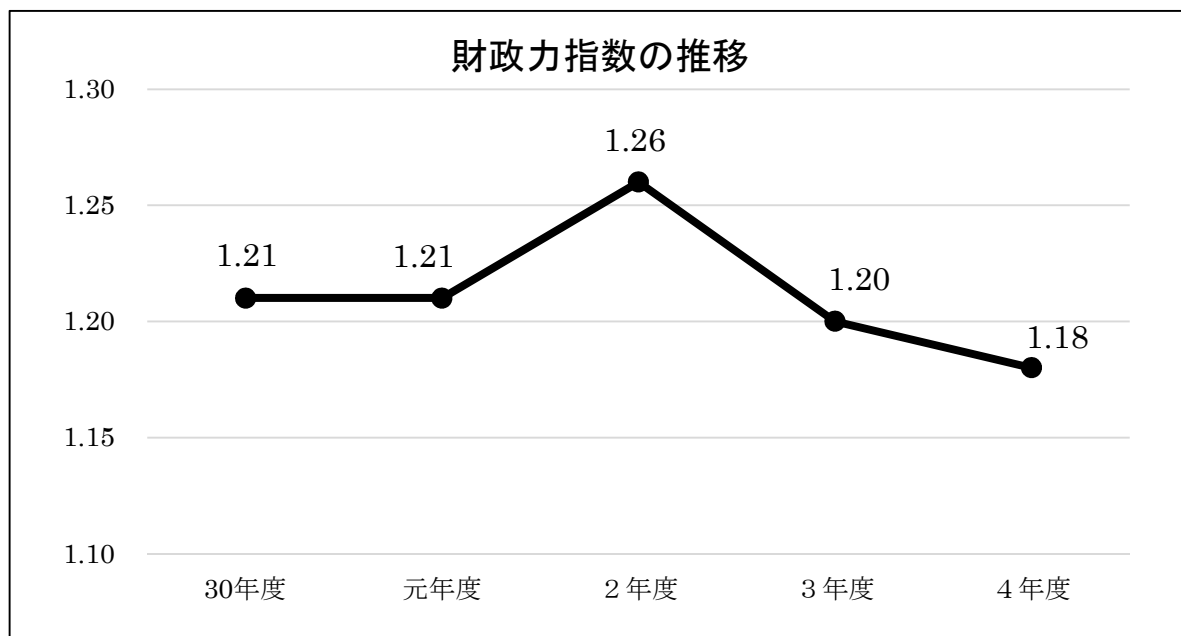
(単位：千円・%)

| 区 分 | 4 年度 | 3 年度 | 対前年度 | |
|-----------|----------------|----------------|-----------------|--------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 基準財政収入額 | 38,532,608 | 37,913,871 | 618,737 | 1.6 |
| 基準財政需要額 | 33,640,869 | 33,784,539 | △143,670 | △0.4 |
| 財 政 力 指 数 | 1.18 (1.15) | 1.20 (1.12) | △0.02 (0.03) | — — |

(算式：基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額)

※財政力指数は過去3年間の平均値となっており、()内は単年度の数値である。

財政力指数は、地方公共団体の財政力の強弱を示す指標で、「1」を超える団体は普通交付税の不交付団体となる。なお、厚木市は、昭和39年度以降、普通交付税の不交付団体である。



●経常収支比率

経常収支比率は、88.4%で、前年度と比較すると2.4ポイント低下している。

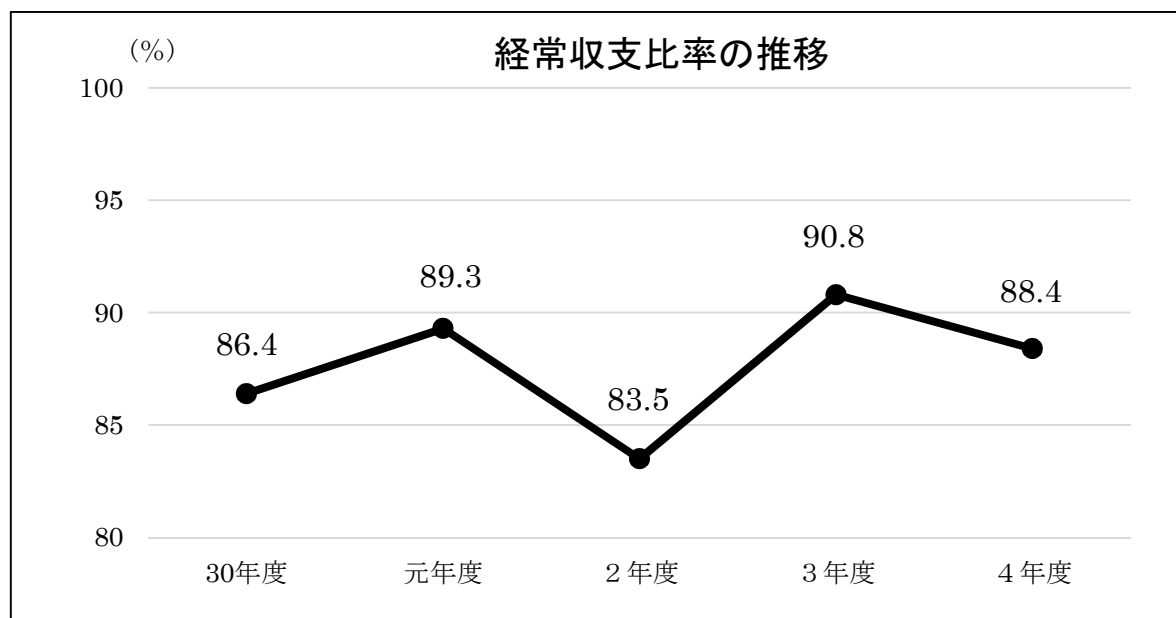
これは主に、地方税の増加に伴い、経常一般財源総額が増加したことによるものである。

(単位：千円・%)

| 区 分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|----------------------|------------|------------|-----------|-----|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 経常経費に充当した 経常一般財源額 | 47,015,109 | 46,308,869 | 706,240 | 1.5 |
| 経常一般財源総額 | 53,189,891 | 51,021,193 | 2,168,698 | 4.3 |
| 経常収支比率 | 88.4 | 90.8 | △2.4 | — |

(算式：経常経費に充当した経常一般財源の額 ÷ 経常一般財源総額 × 100)

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に、市税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源収入がどの程度充当されているかを示す比率である。比率が低いほど財政構造に弾力性が高いといわれている。



●実質収支比率

実質収支比率は、10.5%で、前年度と比較すると0.9ポイント低下している。

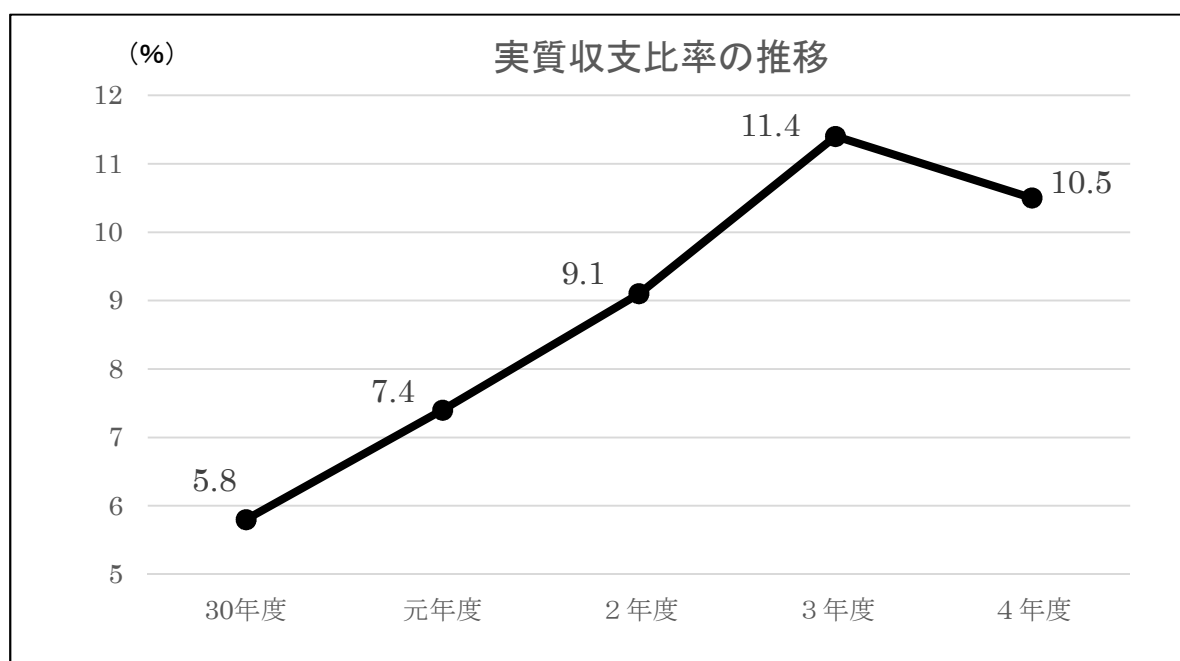
これは主に、新型コロナウイルス感染症の影響による、事業の縮小等が緩和され、歳出が増加したこと、また、翌年度へ繰り越すべき財源が増加したことにより、実質収支額が減少したことによるものである。

(単位：千円・%)

| 区 分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------------|------------|------------|----------|------|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 実 質 収 支 額 | 5,186,698 | 5,564,835 | △378,137 | △6.8 |
| 標 準 財 政 規 模 | 49,530,365 | 48,787,236 | 743,129 | 1.5 |
| 実 質 収 支 比 率 | 10.5 | 11.4 | △0.9 | — |

(算式：実質収支額 ÷ 標準財政規模 × 100)

実質収支比率は、財政の運営状況を判断する指標で、比率が一般的に3～5パーセントが望ましいとされている。



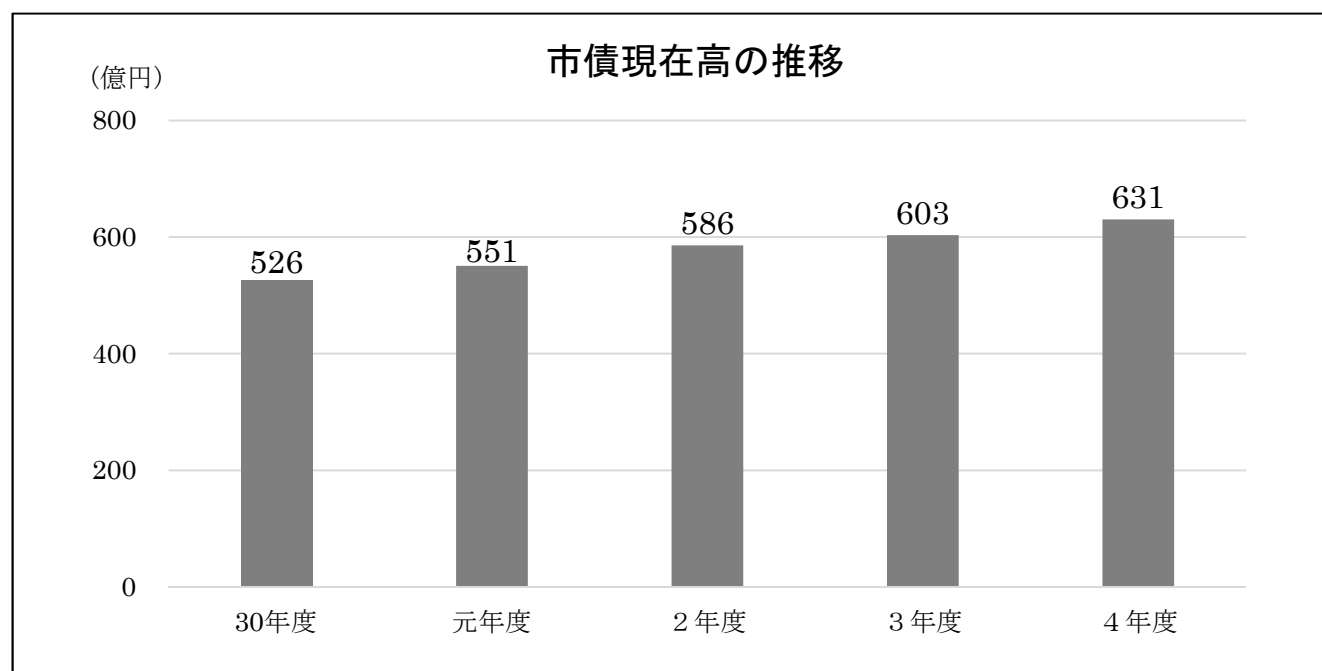
3 市債の状況

市債現在高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 区 分 | 令和3年度末 現在高 | 令和4年度 発行額 | 令和4年度 元金償還金額 | 令和4年度末 現在高 |
|-----------------------|----------------|---------------|-----------------|----------------|
| 一 般 会 計 | 57,646,416,533 | 8,128,100,000 | 4,890,897,446 | 60,883,619,087 |
| 特 別 会 計 (公共用地取得事業) | 2,702,978,030 | 478,100,000 | 1,003,527,081 | 2,177,550,949 |
| 合 計 | 60,349,394,563 | 8,606,200,000 | 5,894,424,527 | 63,061,170,036 |

令和4年度末の一般会計と特別会計を合わせた市債現在高は63,061,170,036円で、前年度末現在高60,349,394,563円と比較すると2,711,775,473円(4.5%)増加している。



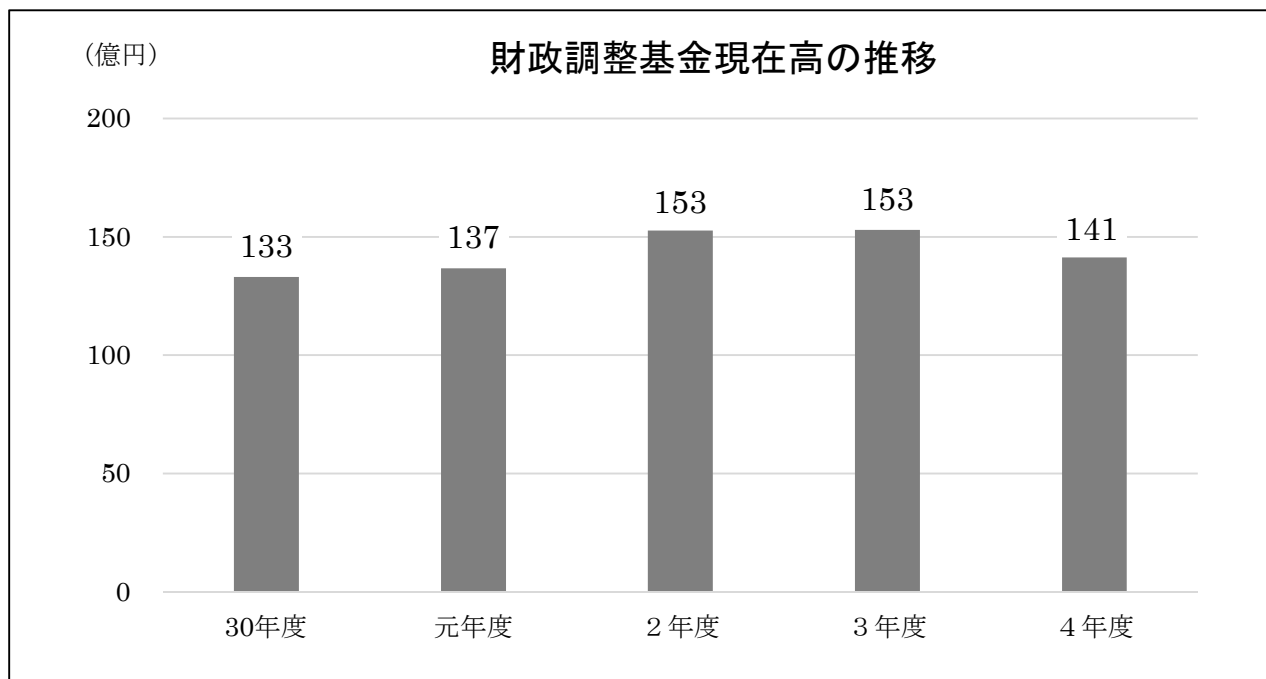
4 財政調整基金の状況

財政調整基金現在高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中 増減額 | 決算年度末 現在高 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 財 政 調 整 基 金 | 15,292,622,579 | △1,155,266,443 | 14,137,356,136 |

決算年度末現在高は、令和3年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金)29,272,000円が含まれ、令和4年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金)18,584,000円が含まれていない額である。



財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金であり、経済不況等による税収の大幅な減少や、災害などの不測の事態における支出に備え、財源に余裕がある年度に積み立てておくものである。

令和4年度決算年度末現在高は14,137,356,136円で、前年度末現在高15,292,622,579円と比較すると1,155,266,443円(7.6%)減少している。

5 一般会計

(1) 決算収支の状況

一般会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区 分 | 4 年度 | 3 年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|----------------|------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予算現額 (A) | 108,536,824,985 | 105,052,469,977 | 3,484,355,008 | 3.3 |
| 歳入決算額 (B) | 106,087,113,443 | 103,262,646,402 | 2,824,467,041 | 2.7 |
| 歳出決算額 (C) | 100,521,107,813 | 97,385,025,829 | 3,136,081,984 | 3.2 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支) (B-C) (D) | 5,566,005,630 | 5,877,620,573 | △311,614,943 | △5.3 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 379,307,777 | 312,785,199 | 66,522,578 | 21.3 |
| 実質収支額 (D-E) (F) | 5,186,697,853 | 5,564,835,374 | △378,137,521 | △6.8 |
| 単年度収支額 (G) | △378,137,521 | 763,499,519 | △1,141,637,040 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

一般会計の決算額は、歳入106,087,113,443円、歳出100,521,107,813円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が2,824,467,041円(2.7%)、歳出が3,136,081,984円(3.2%)増加している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は5,566,005,630円となり、翌年度へ繰り越すべき財源379,307,777円を控除した実質収支額は5,186,697,853円である。

単年度収支額は、378,137,521円の赤字となっている。

(2) 歳入の状況

一般会計の歳入決算の状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 108,536,824,985 | 107,079,660,075 | 106,087,113,443 | 47,158,651 | 945,387,981 | 97.7 | 99.1 |
| 3 | 105,052,469,977 | 104,160,615,459 | 103,262,646,402 | 37,054,151 | 860,914,906 | 98.3 | 99.1 |
| 増減 | 3,484,355,008 | 2,919,044,616 | 2,824,467,041 | 10,104,500 | 84,473,075 | △0.6 | 0.0 |

予算現額 108,536,824,985 円に対し、収入済額は 106,087,113,443 円で、前年度と比較すると 2,824,467,041 円(2.7%)増加している。予算現額に対する収入率は 97.7%、調定額に対する収入率は 99.1%である。

歳入決算額を款別に前年度と比較すると、増減額の主なものは、市税が 2,537,943,359 円(5.7%)、繰入金が 1,382,690,290 円(51.3%)増加し、国庫支出金が 3,664,724,068 円(16.1%)、地方特例交付金が 339,911,000 円(58.7%)減少している。

不納欠損額は 47,158,651 円で、前年度と比較すると 10,104,500 円(27.3%)増加している。不納欠損額の主なものは、市税 38,317,547 円である。

収入未済額は 945,387,981 円で、前年度と比較すると 84,473,075 円(9.8%)増加している。収入未済額の主なものは、市税 457,557,870 円、諸収入 435,953,698 円である。

歳入決算額の内訳は、次のとおりである。

【款別歳入決算状況】

(単位：円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|---------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-------------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 5 市 税 | 45,426,036,000 | 47,229,376,713 | 46,733,501,296 | 38,317,547 | 457,557,870 | 102.9 | 99.0 |
| 10 地方譲与税 | 520,210,000 | 527,799,001 | 527,799,001 | 0 | 0 | 101.5 | 100.0 |
| 15 利子割交付金 | 18,000,000 | 12,453,000 | 12,453,000 | 0 | 0 | 69.2 | 100.0 |
| 18 配当割交付金 | 180,000,000 | 250,483,000 | 250,483,000 | 0 | 0 | 139.2 | 100.0 |
| 21 株式等譲渡 所得割交付金 | 161,000,000 | 192,015,000 | 192,015,000 | 0 | 0 | 119.3 | 100.0 |
| 23 法人事業税 交 付 金 | 922,600,000 | 1,136,618,000 | 1,136,618,000 | 0 | 0 | 123.2 | 100.0 |
| 24 地方消費税 交 付 金 | 5,469,000,000 | 5,997,953,000 | 5,997,953,000 | 0 | 0 | 109.7 | 100.0 |
| 27 ゴルフ場 利 用 税 交 付 金 | 134,000,000 | 150,167,300 | 150,167,300 | 0 | 0 | 112.1 | 100.0 |
| 30 自動車取得税 交 付 金 | 0 | 1,107,622 | 1,107,622 | 0 | 0 | — | 100.0 |
| 31 環境性能割 交 付 金 | 118,000,000 | 115,735,000 | 115,735,000 | 0 | 0 | 98.1 | 100.0 |
| 33 地方特例 交 付 金 | 203,000,000 | 239,429,000 | 239,429,000 | 0 | 0 | 117.9 | 100.0 |
| 35 地方交付税 | 30,000,000 | 35,304,000 | 35,304,000 | 0 | 0 | 117.7 | 100.0 |
| 40 交通安全対策 特別交付金 | 37,000,000 | 34,485,000 | 34,485,000 | 0 | 0 | 93.2 | 100.0 |
| 45 分担金及び 負 担 金 | 349,585,000 | 368,063,921 | 357,432,397 | 824,200 | 9,807,324 | 102.2 | 97.1 |
| 50 使用料及び 手 数 料 | 1,346,743,000 | 1,346,154,706 | 1,304,073,407 | 35,910 | 42,045,389 | 96.8 | 96.9 |
| 55 国庫支出金 | 21,273,624,786 | 19,093,326,252 | 19,093,326,252 | 0 | 0 | 89.8 | 100.0 |
| 60 県 支 出 金 | 6,056,324,000 | 5,806,836,335 | 5,806,836,335 | 0 | 0 | 95.9 | 100.0 |
| 65 財 産 収 入 | 282,248,000 | 323,893,982 | 323,870,282 | 0 | 23,700 | 114.7 | 100.0 |
| 70 寄 附 金 | 1,550,000,000 | 1,445,025,383 | 1,445,025,383 | 0 | 0 | 93.2 | 100.0 |
| 75 繰 入 金 | 4,086,755,000 | 4,080,112,553 | 4,080,112,553 | 0 | 0 | 99.8 | 100.0 |
| 80 繰 越 金 | 5,877,620,199 | 5,877,620,573 | 5,877,620,573 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 85 諸 収 入 | 4,096,579,000 | 4,687,600,734 | 4,243,666,042 | 7,980,994 | 435,953,698 | 103.6 | 90.5 |
| 90 市 債 | 10,398,500,000 | 8,128,100,000 | 8,128,100,000 | 0 | 0 | 78.2 | 100.0 |
| 合 計 | 108,536,824,985 | 107,079,660,075 | 106,087,113,443 | 47,158,651 | 945,387,981 | 97.7 | 99.1 |

歳入決算額を自主財源と依存財源に区分すると次のとおりである。

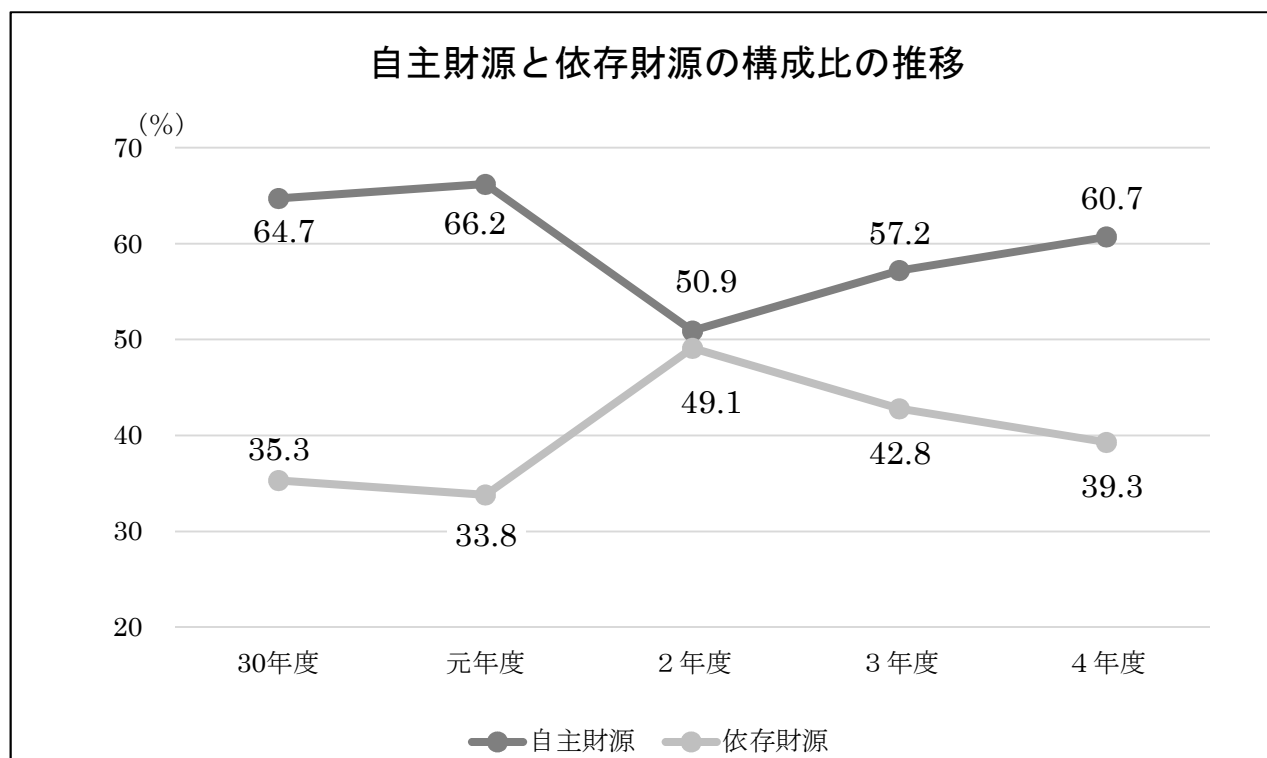
【財源別歳入決算状況】

(単位：円・%)

| 区 分 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | | |
|------|------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| | 決 算 額 | 構成比 | 決 算 額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | |
| 自主財源 | 市 税 | 46,733,501,296 | 44.1 | 44,195,557,937 | 42.8 | 2,537,943,359 | 5.7 |
| | 分担金及び負担金 | 357,432,397 | 0.3 | 309,229,011 | 0.3 | 48,203,386 | 15.6 |
| | 使用料及び手数料 | 1,304,073,407 | 1.2 | 1,256,952,715 | 1.2 | 47,120,692 | 3.7 |
| | 財 産 収 入 | 323,870,282 | 0.3 | 265,896,604 | 0.2 | 57,973,678 | 21.8 |
| | 寄 附 金 | 1,445,025,383 | 1.4 | 1,016,704,008 | 1.0 | 428,321,375 | 42.1 |
| | 繰 入 金 | 4,080,112,553 | 3.9 | 2,697,422,263 | 2.6 | 1,382,690,290 | 51.3 |
| | 繰 越 金 | 5,877,620,573 | 5.5 | 5,435,438,832 | 5.3 | 442,181,741 | 8.1 |
| | 諸 収 入 | 4,243,666,042 | 4.0 | 3,937,171,378 | 3.8 | 306,494,664 | 7.8 |
| | 小 計 | 64,365,301,933 | 60.7 | 59,114,372,748 | 57.2 | 5,250,929,185 | 8.9 |
| 依存財源 | 地方譲与税 | 527,799,001 | 0.5 | 530,993,001 | 0.5 | △3,194,000 | △0.6 |
| | 利子割交付金 | 12,453,000 | 0.0 | 17,805,000 | 0.0 | △5,352,000 | △30.1 |
| | 配当割交付金 | 250,483,000 | 0.2 | 265,253,000 | 0.3 | △14,770,000 | △5.6 |
| | 株式等譲渡 所得割交付金 | 192,015,000 | 0.2 | 337,549,000 | 0.3 | △145,534,000 | △43.1 |
| | 法人事業税交付金 | 1,136,618,000 | 1.1 | 1,220,506,000 | 1.2 | △83,888,000 | △6.9 |
| | 地方消費税交付金 | 5,997,953,000 | 5.7 | 5,764,190,000 | 5.6 | 233,763,000 | 4.1 |
| | ゴルフ場利用税 交 付 金 | 150,167,300 | 0.1 | 146,227,410 | 0.2 | 3,939,890 | 2.7 |
| | 自動車取得税 交 付 金 | 1,107,622 | 0.0 | 257 | 0.0 | 1,107,365 | 著増 |
| | 環境性能割交付金 | 115,735,000 | 0.1 | 98,294,000 | 0.1 | 17,441,000 | 17.7 |
| | 地方特例交付金 | 239,429,000 | 0.2 | 579,340,000 | 0.6 | △339,911,000 | △58.7 |
| | 地方交付税 | 35,304,000 | 0.0 | 37,934,000 | 0.0 | △2,630,000 | △6.9 |
| | 交通安全対策 特別交付金 | 34,485,000 | 0.0 | 38,068,000 | 0.0 | △3,583,000 | △9.4 |
| | 国庫支出金 | 19,093,326,252 | 18.0 | 22,758,050,320 | 22.0 | △3,664,724,068 | △16.1 |
| | 県 支 出 金 | 5,806,836,335 | 5.5 | 5,497,863,666 | 5.3 | 308,972,669 | 5.6 |
| 市 債 | 8,128,100,000 | 7.7 | 6,856,200,000 | 6.7 | 1,271,900,000 | 18.6 | |
| 小 計 | 41,721,811,510 | 39.3 | 44,148,273,654 | 42.8 | △2,426,462,144 | △5.5 | |
| 合 計 | 106,087,113,443 | 100.0 | 103,262,646,402 | 100.0 | 2,824,467,041 | 2.7 | |

歳入決算額を財源別で見ると、自主財源の総額は 64,365,301,933 円で、前年度と比較すると、5,250,929,185 円(8.9%)増加している。これは主に、市税が 2,537,943,359 円(5.7%)、繰入金が 1,382,690,290 円(51.3%)増加したことによるものである。歳入総額に占める割合は 60.7%で、前年度と比較すると 3.5 ポイント上昇している。

一方、依存財源の総額は 41,721,811,510 円で、前年度と比較すると 2,426,462,144 円(5.5%)減少している。これは主に、市債が 1,271,900,000 円(18.6%)増加したものの、国庫支出金が 3,664,724,068 円(16.1%)、地方特例交付金が 339,911,000 円(58.7%)減少したことによるものである。歳入総額に占める割合は 39.3%で、前年度と比較すると 3.5 ポイント低下している。



第5款 市税

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|------------|-------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 45,426,036,000 | 47,229,376,713 | 46,733,501,296 | 38,317,547 | 457,557,870 | 102.9 | 99.0 |
| 3 | 43,145,198,000 | 44,591,403,592 | 44,195,557,937 | 24,498,742 | 371,346,913 | 102.4 | 99.1 |
| 増減 | 2,280,838,000 | 2,637,973,121 | 2,537,943,359 | 13,818,805 | 86,210,957 | 0.5 | △0.1 |

市税の収入済額は 46,733,501,296 円で、前年度と比較すると 2,537,943,359 円(5.7%)増加している。

【税目別対前年度比較】

(単位：円・%)

| 区 分 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | |
|-------------------|----------------|-------|----------------|-------|---------------|------|
| | 収入済額 | 構成比 | 収入済額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 市 民 税 | 21,249,026,490 | 45.4 | 19,456,698,431 | 44.0 | 1,792,328,059 | 9.2 |
| 個 人 | 15,276,999,425 | 32.7 | 14,742,739,560 | 33.3 | 534,259,865 | 3.6 |
| 法 人 | 5,972,027,065 | 12.7 | 4,713,958,871 | 10.7 | 1,258,068,194 | 26.7 |
| 固 定 資 産 税 | 20,502,776,109 | 43.9 | 19,962,926,821 | 45.2 | 539,849,288 | 2.7 |
| 固定資産税 | 20,408,853,309 | 43.7 | 19,868,643,821 | 45.0 | 540,209,488 | 2.7 |
| 国有資産等所在 市町村交付金 | 93,922,800 | 0.2 | 94,283,000 | 0.2 | △360,200 | △0.4 |
| 軽 自 動 車 税 | 520,801,178 | 1.1 | 479,798,278 | 1.1 | 41,002,900 | 8.5 |
| 環境性能割 | 48,392,500 | 0.1 | 26,265,400 | 0.1 | 22,127,100 | 84.2 |
| 種 別 割 | 472,408,678 | 1.0 | 453,532,878 | 1.0 | 18,875,800 | 4.2 |
| 市 た ば こ 税 | 1,996,335,148 | 4.3 | 1,883,658,324 | 4.2 | 112,676,824 | 6.0 |
| 入 湯 税 | 2,515,950 | 0.0 | 2,431,650 | 0.0 | 84,300 | 3.5 |
| 都 市 計 画 税 | 2,462,046,421 | 5.3 | 2,410,044,433 | 5.5 | 52,001,988 | 2.2 |
| 合 計 | 46,733,501,296 | 100.0 | 44,195,557,937 | 100.0 | 2,537,943,359 | 5.7 |

市税収入を税目別に前年度と比較すると、増減額の主なものは、法人市民税が 1,258,068,194 円(26.7%)、固定資産税が 540,209,488 円(2.7%)増加し、国有資産等所在市町村交付金が 360,200 円(0.4%)減少している。

市税を現年課税分・滞納繰越分別にみると、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|-----|-------|----------------|----------------|------------|-------------|------|
| 4年度 | 現年課税分 | 46,799,638,557 | 46,536,322,889 | 217,679 | 263,097,989 | 99.4 |
| | 滞納繰越分 | 429,738,156 | 197,178,407 | 38,099,868 | 194,459,881 | 45.9 |
| | 計 | 47,229,376,713 | 46,733,501,296 | 38,317,547 | 457,557,870 | 99.0 |
| 3年度 | 現年課税分 | 44,068,125,794 | 43,867,914,193 | 249,503 | 199,962,098 | 99.5 |
| | 滞納繰越分 | 523,277,798 | 327,643,744 | 24,249,239 | 171,384,815 | 62.6 |
| | 計 | 44,591,403,592 | 44,195,557,937 | 24,498,742 | 371,346,913 | 99.1 |
| 2年度 | 現年課税分 | 48,790,945,279 | 48,503,516,916 | 94,810 | 287,333,553 | 99.4 |
| | 滞納繰越分 | 501,457,207 | 282,054,145 | 41,043,546 | 178,359,516 | 56.2 |
| | 計 | 49,292,402,486 | 48,785,571,061 | 41,138,356 | 465,693,069 | 99.0 |

【市税収入率の推移】

(単位：%)

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 現年課税分 | 99.5 | 99.4 | 99.4 | 99.5 | 99.4 |
| 滞納繰越分 | 44.0 | 43.4 | 56.2 | 62.6 | 45.9 |
| 合計 | 98.7 | 98.8 | 99.0 | 99.1 | 99.0 |

収入率は99.0%で、前年度より0.1ポイント低下している。このうち、現年課税分の収入率は99.4%で、前年度より0.1ポイント低下している。また、滞納繰越分の収入率は45.9%で、前年度より16.7ポイント低下している。これは主に、固定資産税滞納繰越分が60,118,550円(52.6%)、法人市民税滞納繰越分が45,937,203円(86.3%)減少したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額を前年度と比較すると次のとおりである。

(単位：円・%)

| 税目 | 区分 | 不納欠損額 | | | 収入未済額 | | |
|-----------|-------|------------|------------|-------|-------------|-------------|-------|
| | | 4年度 | 3年度 | 増減率 | 4年度 | 3年度 | 増減率 |
| 市 民 税 | 市 民 税 | 23,014,545 | 17,411,758 | 32.2 | 285,368,786 | 181,288,182 | 57.4 |
| | 個 人 | 21,480,266 | 16,456,591 | 30.5 | 262,932,321 | 161,267,673 | 63.0 |
| | 法 人 | 1,534,279 | 955,167 | 60.6 | 22,436,465 | 20,020,509 | 12.1 |
| 固 定 資 産 税 | | 12,826,023 | 5,693,779 | 125.3 | 139,009,653 | 155,751,871 | △10.7 |
| 軽自動車税 | | 794,124 | 563,137 | 41.0 | 13,408,988 | 12,110,527 | 10.7 |
| 都市計画税 | | 1,682,855 | 830,068 | 102.7 | 19,770,443 | 22,196,333 | △10.9 |
| 合 計 | | 38,317,547 | 24,498,742 | 56.4 | 457,557,870 | 371,346,913 | 23.2 |

不納欠損額は 38,317,547 円で、前年度と比較すると 13,818,805 円(56.4%)増加している。

これは主に、固定資産税が 7,132,244 円(125.3%)、個人市民税が 5,023,675 円(30.5%)増加したことによるものである。

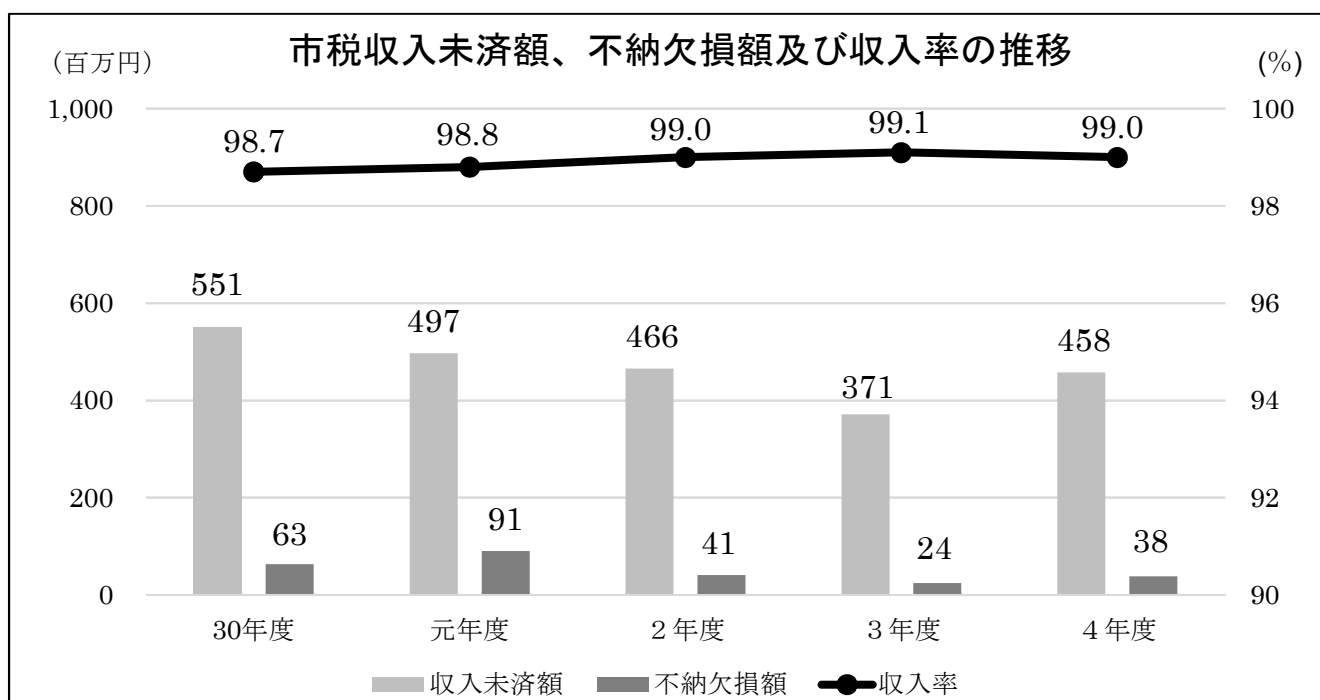
収入未済額は 457,557,870 円で、前年度と比較すると 86,210,957 円(23.2%)増加している。

これは主に、固定資産税が 16,742,218 円(10.7%)減少したものの、個人市民税が 101,664,648 円(63.0%)増加したことによるものである。

不納欠損の事由別内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 事由 税目 | 執行停止(3年) による消滅 | 今後徴収不能 | 時効(5年) による消滅 | 合 計 | 対前年度 | |
|-----------|-------------------|-------------------|-----------------|------------|------------|------------|
| | 地方税法 第15条の7第4項 | 地方税法 第15条の7第5項 | 地方税法 第18条第1項 | | 3年度 | 増減額 |
| 市 民 税 | 12,689,517 | 5,354,881 | 4,970,147 | 23,014,545 | 17,411,758 | 5,602,787 |
| 個 人 | 12,582,017 | 4,588,602 | 4,309,647 | 21,480,266 | 16,456,591 | 5,023,675 |
| 法 人 | 107,500 | 766,279 | 660,500 | 1,534,279 | 955,167 | 579,112 |
| 固 定 資 産 税 | 7,005,290 | 1,695,811 | 4,124,922 | 12,826,023 | 5,693,779 | 7,132,244 |
| 軽自動車税 | 239,629 | 406,195 | 148,300 | 794,124 | 563,137 | 230,987 |
| 入 湯 税 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 都市計画税 | 928,779 | 147,498 | 606,578 | 1,682,855 | 830,068 | 852,787 |
| 合 計 | 20,863,215 | 7,604,385 | 9,849,947 | 38,317,547 | 24,498,742 | 13,818,805 |



第10款 地方譲与税

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 520,210,000 | 527,799,001 | 527,799,001 | 0 | 0 | 101.5 | 100.0 |
| 3 | 510,000,000 | 530,993,001 | 530,993,001 | 0 | 0 | 104.1 | 100.0 |
| 増減 | 10,210,000 | △3,194,000 | △3,194,000 | 0 | 0 | △2.6 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|----------|-------------|-------------|------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 地方揮発油譲与税 | 124,763,000 | 131,548,000 | △6,785,000 | △5.2 |
| 自動車重量譲与税 | 373,488,000 | 376,117,000 | △2,629,000 | △0.7 |
| 地方道路譲与税 | 1 | 1 | 0 | 0.0 |
| 森林環境譲与税 | 29,548,000 | 23,328,000 | 6,220,000 | 26.7 |
| 合計 | 527,799,001 | 530,993,001 | △3,194,000 | △0.6 |

地方譲与税は、本来地方税に属すべき税源を、形式上一旦国税として徴収し、これを国が客観的基準によって地方公共団体に対して譲与するもので、527,799,001円譲与された。

地方譲与税の収入済額を前年度と比較すると3,194,000円(0.6%)減少している。

第15款 利子割交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|------------|------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 18,000,000 | 12,453,000 | 12,453,000 | 0 | 0 | 69.2 | 100.0 |
| 3 | 33,000,000 | 17,805,000 | 17,805,000 | 0 | 0 | 54.0 | 100.0 |
| 増減 | △15,000,000 | △5,352,000 | △5,352,000 | 0 | 0 | 15.2 | 0.0 |

利子割交付金は、金融機関等の預貯金利子等の支払を受ける際に課税された県税の一部を県が市に対して交付するもので、12,453,000円交付された。

利子割交付金の収入済額を前年度と比較すると5,352,000円(30.1%)減少している。

第18款 配当割交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 180,000,000 | 250,483,000 | 250,483,000 | 0 | 0 | 139.2 | 100.0 |
| 3 | 171,000,000 | 265,253,000 | 265,253,000 | 0 | 0 | 155.1 | 100.0 |
| 増減 | 9,000,000 | △14,770,000 | △14,770,000 | 0 | 0 | △15.9 | 0.0 |

配当割交付金は、上場株式等の配当に課税された一部を、県が個人県民税の額に応じて、市に対して交付するもので、250,483,000円交付された。

配当割交付金の収入済額を前年度と比較すると14,770,000円(5.6%)減少している。

第21款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 161,000,000 | 192,015,000 | 192,015,000 | 0 | 0 | 119.3 | 100.0 |
| 3 | 185,000,000 | 337,549,000 | 337,549,000 | 0 | 0 | 182.5 | 100.0 |
| 増減 | △24,000,000 | △145,534,000 | △145,534,000 | 0 | 0 | △63.2 | 0.0 |

株式等譲渡所得割交付金は、株式等の譲渡をする際に課税された県税の一部を県が市に対して交付するもので、192,015,000円交付された。

株式等譲渡所得割交付金の収入済額を前年度と比較すると145,534,000円(43.1%)減少している。

第23款 法人事業税交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 922,600,000 | 1,136,618,000 | 1,136,618,000 | 0 | 0 | 123.2 | 100.0 |
| 3 | 803,000,000 | 1,220,506,000 | 1,220,506,000 | 0 | 0 | 152.0 | 100.0 |
| 増減 | 119,600,000 | △83,888,000 | △83,888,000 | 0 | 0 | △28.8 | 0.0 |

法人事業税交付金は、法人事業税の一部を、県が市町村の従業員数に応じて、市に対して交付するもので、1,136,618,000円交付された。

法人事業税交付金の収入済額を前年度と比較すると83,888,000円(6.9%)減少している。

第24款 地方消費税交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 5,469,000,000 | 5,997,953,000 | 5,997,953,000 | 0 | 0 | 109.7 | 100.0 |
| 3 | 5,148,000,000 | 5,764,190,000 | 5,764,190,000 | 0 | 0 | 112.0 | 100.0 |
| 増減 | 321,000,000 | 233,763,000 | 233,763,000 | 0 | 0 | △2.3 | 0.0 |

地方消費税交付金の収入済額は5,997,953,000円で、前年度と比較すると233,763,000円(4.1%)増加している。

第27款 ゴルフ場利用税交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 134,000,000 | 150,167,300 | 150,167,300 | 0 | 0 | 112.1 | 100.0 |
| 3 | 138,000,000 | 146,227,410 | 146,227,410 | 0 | 0 | 106.0 | 100.0 |
| 増減 | △4,000,000 | 3,939,890 | 3,939,890 | 0 | 0 | 6.1 | 0.0 |

ゴルフ場利用税交付金の収入済額は150,167,300円で、前年度と比較すると3,939,890円(2.7%)増加している。

第30款 自動車取得税交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------|-----------|-----------|-------|-------|-----|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 0 | 1,107,622 | 1,107,622 | 0 | 0 | — | 100.0 |
| 3 | 0 | 257 | 257 | 0 | 0 | — | 100.0 |
| 増減 | 0 | 1,107,365 | 1,107,365 | 0 | 0 | — | 0.0 |

自動車取得税交付金の収入済額は1,107,622円で、前年度と比較すると1,107,365円(著増)増加している。

なお、令和元年度税制改正により、令和元年10月1日以降、自動車取得税は廃止され、環境性能割が導入されているが、滞納繰越分や遡って課税した場合、旧法により交付される。

第31款 環境性能割交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 118,000,000 | 115,735,000 | 115,735,000 | 0 | 0 | 98.1 | 100.0 |
| 3 | 122,000,000 | 98,294,000 | 98,294,000 | 0 | 0 | 80.6 | 100.0 |
| 増減 | △4,000,000 | 17,441,000 | 17,441,000 | 0 | 0 | 17.5 | 0.0 |

環境性能割交付金の収入済額は115,735,000円で、前年度と比較すると17,441,000円(17.7%)増加している。

第33款 地方特例交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|--------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 203,000,000 | 239,429,000 | 239,429,000 | 0 | 0 | 117.9 | 100.0 |
| 3 | 569,000,000 | 579,340,000 | 579,340,000 | 0 | 0 | 101.8 | 100.0 |
| 増減 | △366,000,000 | △339,911,000 | △339,911,000 | 0 | 0 | 16.1 | 0.0 |

地方特例交付金の収入済額は239,429,000円で、前年度と比較すると339,911,000円(58.7%)減少している。

これは主に、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金が334,471,000円(98.5%)減少したことによるものである。

第35款 地方交付税

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 30,000,000 | 35,304,000 | 35,304,000 | 0 | 0 | 117.7 | 100.0 |
| 3 | 30,000,000 | 37,934,000 | 37,934,000 | 0 | 0 | 126.4 | 100.0 |
| 増減 | 0 | △2,630,000 | △2,630,000 | 0 | 0 | △8.7 | 0.0 |

地方交付税は、地方交付税法に基づき所得税、法人税、酒税、消費税、地方法人税から交付されるもので、普通交付税と特別交付税により構成されている。

普通交付税は、地方交付税法の規定により算定される基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体(財源不足団体)に対し交付されるが、本市においては昭和39年度以降不交付団体となっている。特別交付税は、普通交付税で捕捉されなかった特別の財政需要について算定され、35,304,000円が交付された。

地方交付税(特別交付税)の収入済額を前年度と比較すると2,630,000円(6.9%)減少している。

第40款 交通安全対策特別交付金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 37,000,000 | 34,485,000 | 34,485,000 | 0 | 0 | 93.2 | 100.0 |
| 3 | 37,000,000 | 38,068,000 | 38,068,000 | 0 | 0 | 102.9 | 100.0 |
| 増減 | 0 | △3,583,000 | △3,583,000 | 0 | 0 | △9.7 | 0.0 |

交通安全対策特別交付金は、道路交通安全施設の設置や管理に必要な経費に充てるために、道路交通法に定める反則金を財源として、国が市に対して交付するもので34,485,000円交付された。

交通安全対策特別交付金の収入済額を前年度と比較すると3,583,000円(9.4%)減少している。

第45款 分担金及び負担金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|---------|------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 349,585,000 | 368,063,921 | 357,432,397 | 824,200 | 9,807,324 | 102.2 | 97.1 |
| 3 | 355,724,000 | 324,090,433 | 309,229,011 | 825,300 | 14,036,122 | 86.9 | 95.4 |
| 増減 | △6,139,000 | 43,973,488 | 48,203,386 | △1,100 | △4,228,798 | 15.3 | 1.7 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|--------|-------------|-------------|------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 民生費負担金 | 337,737,116 | 293,160,775 | 44,576,341 | 15.2 |
| 土木費負担金 | 19,695,281 | 16,068,236 | 3,627,045 | 22.6 |
| 合計 | 357,432,397 | 309,229,011 | 48,203,386 | 15.6 |

分担金及び負担金の収入済額は357,432,397円で、前年度と比較すると48,203,386円(15.6%)増加している。

これは主に、民生費負担金の民間保育所保育料が48,452,930円(17.0%)増加したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額は、全て民間保育所保育料である。

第50款 使用料及び手数料

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|--------|------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 1,346,743,000 | 1,346,154,706 | 1,304,073,407 | 35,910 | 42,045,389 | 96.8 | 96.9 |
| 3 | 1,281,930,000 | 1,304,375,184 | 1,256,952,715 | 45,220 | 47,377,249 | 98.1 | 96.4 |
| 増減 | 64,813,000 | 41,779,522 | 47,120,692 | △9,310 | △5,331,860 | △1.3 | 0.5 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-----|---------------|---------------|------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 使用料 | 718,826,127 | 670,844,675 | 47,981,452 | 7.2 |
| 手数料 | 585,247,280 | 586,108,040 | △860,760 | △0.1 |
| 合計 | 1,304,073,407 | 1,256,952,715 | 47,120,692 | 3.7 |

使用料及び手数料の収入済額は1,304,073,407円で、前年度と比較すると47,120,692円(3.7%)増加している。

これは主に、使用料の斎場使用料が22,253,000円(27.3%)、自転車等駐車場使用料が8,560,020円(7.9%)増加したことによるものである。

不納欠損額は、全てし尿処理手数料(滞納繰越分)である。

収入未済額の主なものは、市営住宅使用料滞納繰越分38,422,909円である。

第55款 国庫支出金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 21,273,624,786 | 19,093,326,252 | 19,093,326,252 | 0 | 0 | 89.8 | 100.0 |
| 3 | 24,615,488,000 | 22,758,050,320 | 22,758,050,320 | 0 | 0 | 92.5 | 100.0 |
| 増減 | △3,341,863,214 | △3,664,724,068 | △3,664,724,068 | 0 | 0 | △2.7 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 国庫負担金 | 10,080,423,634 | 9,966,721,855 | 113,701,779 | 1.1 |
| 国庫補助金 | 8,879,997,570 | 12,666,091,713 | △3,786,094,143 | △29.9 |
| 委託金 | 132,905,048 | 125,236,752 | 7,668,296 | 6.1 |
| 合計 | 19,093,326,252 | 22,758,050,320 | △3,664,724,068 | △16.1 |

国庫支出金の収入済額は19,093,326,252円で、前年度と比較すると3,664,724,068円(16.1%)減少している。

これは主に、国庫補助金の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金が968,950,000円(皆増)増加したものの、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金が3,076,660,000円(98.8%)、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金が1,343,100,000円(76.6%)減少したことによるものである。

第60款 県支出金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 6,056,324,000 | 5,806,836,335 | 5,806,836,335 | 0 | 0 | 95.9 | 100.0 |
| 3 | 5,569,011,000 | 5,497,863,666 | 5,497,863,666 | 0 | 0 | 98.7 | 100.0 |
| 増減 | 487,313,000 | 308,972,669 | 308,972,669 | 0 | 0 | △2.8 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 県負担金 | 4,068,945,748 | 3,988,131,255 | 80,814,493 | 2.0 |
| 県補助金 | 1,325,873,937 | 1,124,923,056 | 200,950,881 | 17.9 |
| 委託金 | 412,016,650 | 384,809,355 | 27,207,295 | 7.1 |
| 合計 | 5,806,836,335 | 5,497,863,666 | 308,972,669 | 5.6 |

県支出金の収入済額は5,806,836,335円で、前年度と比較すると308,972,669円(5.6%)増加している。

これは主に、県補助金の出産・子育て応援交付金が129,057,000円(皆増)、地域密着型サービス等整備補助金が33,600,000円(皆増)、市町村自治基盤強化総合補助金が28,693,000円(75.0%)増加したことによるものである。

第65款 財産収入

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|-------------|-------------|-------------|-------|--------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 282,248,000 | 323,893,982 | 323,870,282 | 0 | 23,700 | 114.7 | 100.0 |
| 3 | 228,924,000 | 265,920,304 | 265,896,604 | 0 | 23,700 | 116.2 | 100.0 |
| 増減 | 53,324,000 | 57,973,678 | 57,973,678 | 0 | 0 | △1.5 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|--------|----|-------------|-------------|------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 財産運用収入 | | 213,995,552 | 218,571,700 | △4,576,148 | △2.1 |
| 財産売払収入 | | 109,874,730 | 47,324,904 | 62,549,826 | 132.2 |
| 合計 | | 323,870,282 | 265,896,604 | 57,973,678 | 21.8 |

財産収入の収入済額は323,870,282円で、前年度と比較すると57,973,678円(21.8%)増加している。

これは主に、財産運用収入の建物貸付収入が8,188,755円(34.7%)、アミューあつぎ建物貸付収入が5,815,286円(5.3%)減少したものの、財産売払収入の市有地売払収入が62,549,826円(132.2%)、財産運用収入の支援センター貸付収入が6,653,287円(皆増)増加したことによるものである。

収入未済額は、全て建物貸付収入である。

第70款 寄附金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 1,550,000,000 | 1,445,025,383 | 1,445,025,383 | 0 | 0 | 93.2 | 100.0 |
| 3 | 1,100,000,000 | 1,016,704,008 | 1,016,704,008 | 0 | 0 | 92.4 | 100.0 |
| 増減 | 450,000,000 | 428,321,375 | 428,321,375 | 0 | 0 | 0.8 | 0.0 |

寄附金の収入済額は1,445,025,383円で、前年度と比較すると428,321,375円(42.1%)増加している。

第75款 繰入金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 4,086,755,000 | 4,080,112,553 | 4,080,112,553 | 0 | 0 | 99.8 | 100.0 |
| 3 | 2,738,255,000 | 2,697,422,263 | 2,697,422,263 | 0 | 0 | 98.5 | 100.0 |
| 増減 | 1,348,500,000 | 1,382,690,290 | 1,382,690,290 | 0 | 0 | 1.3 | 0.0 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|--------|----|---------------|---------------|---------------|------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 他会計繰入金 | | 48,979,711 | 45,336,130 | 3,643,581 | 8.0 |
| 基金繰入金 | | 4,031,132,842 | 2,652,086,133 | 1,379,046,709 | 52.0 |
| 合計 | | 4,080,112,553 | 2,697,422,263 | 1,382,690,290 | 51.3 |

繰入金の収入済額は4,080,112,553円で、前年度と比較すると1,382,690,290円(51.3%)増加している。

これは主に、基金繰入金の財政調整基金繰入金(法人市民税還付分)が689,930,000円(40.9%)減少したものの、財政調整基金繰入金が2,000,000,000円(皆増)増加したことによるものである。

第80款 繰越金

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 5,877,620,199 | 5,877,620,573 | 5,877,620,573 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 3 | 5,435,438,977 | 5,435,438,832 | 5,435,438,832 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 増減 | 442,181,222 | 442,181,741 | 442,181,741 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |

繰越金の収入済額は5,877,620,573円で、前年度と比較すると442,181,741円(8.1%)増加している。

収入済額の内訳は、現年度予算剰余金5,495,317,616円、繰越明許予算剰余金69,517,758円、継続費逐次繰越56,130,470円、繰越明許費242,000,329円、事故繰越し14,654,400円である。

第85款 諸収入

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|------------|-------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 4,096,579,000 | 4,687,600,734 | 4,243,666,042 | 7,980,994 | 435,953,698 | 103.6 | 90.5 |
| 3 | 3,829,301,000 | 4,376,987,189 | 3,937,171,378 | 11,684,889 | 428,130,922 | 102.8 | 90.0 |
| 増減 | 267,278,000 | 310,613,545 | 306,494,664 | △3,703,895 | 7,822,776 | 0.8 | 0.5 |

【収入済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 延滞金、加算金及び過料 | 60,121,264 | 84,536,124 | △24,414,860 | △28.9 |
| 市預金利子 | 68,981 | 65,552 | 3,429 | 5.2 |
| 貸付金元利収入 | 1,880,730,544 | 1,882,788,046 | △2,057,502 | △0.1 |
| 雑収入 | 2,302,745,253 | 1,969,781,656 | 332,963,597 | 16.9 |
| 合計 | 4,243,666,042 | 3,937,171,378 | 306,494,664 | 7.8 |

諸収入の収入済額は4,243,666,042円で、前年度と比較すると306,494,664円(7.8%)増加している。

これは主に、延滞金、加算金及び過料の市税延滞金が24,467,360円(29.0%)減少したものの、雑入の新型コロナウイルスワクチン接種事業費等補助金(過年度分)が209,791,494円(皆増)、陸合分署消防訓練場移設補償費が69,734,241円(皆増)増加したことによるものである。

不納欠損額の内訳は、生活保護費返還金(滞納繰越分)7,760,994円、児童扶養手当返納金160,000円、児童手当返納金60,000円である。

収入未済額の主なものは、地域改善事業住宅新築等資金貸付金元利収入271,593,762円、生活保護費返還金(滞納繰越分)73,300,612円である。

第90款 市債

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 10,398,500,000 | 8,128,100,000 | 8,128,100,000 | 0 | 0 | 78.2 | 100.0 |
| 3 | 9,007,200,000 | 6,856,200,000 | 6,856,200,000 | 0 | 0 | 76.1 | 100.0 |
| 増減 | 1,391,300,000 | 1,271,900,000 | 1,271,900,000 | 0 | 0 | 2.1 | 0.0 |

市債の収入済額は8,128,100,000円で、前年度と比較すると1,271,900,000円(18.6%)増加している。

市債(目的別)の現在高は次のとおりである。

(単位：円)

| 目的別 | 令和3年度末 現在高 | 令和4年度 発行額 | 令和4年度 元金償還金額 | 令和4年度末 現在高 |
|---------|----------------|---------------|-----------------|----------------|
| 総務債 | 683,537,914 | 99,800,000 | 32,250,503 | 751,087,411 |
| 民生債 | 1,352,821,678 | 102,800,000 | 159,065,520 | 1,296,556,158 |
| 衛生債 | 747,685,350 | 57,200,000 | 267,418,924 | 537,466,426 |
| 農林債 | 688,057,787 | 80,300,000 | 71,296,165 | 697,061,622 |
| 商工債 | 641,581,187 | 145,000,000 | 17,974,442 | 768,606,745 |
| 土木債 | 33,263,795,499 | 4,708,700,000 | 1,917,725,747 | 36,054,769,752 |
| 公営住宅債 | 1,523,287,116 | 78,600,000 | 101,987,757 | 1,499,899,359 |
| 消防債 | 2,050,113,692 | 256,300,000 | 165,049,083 | 2,141,364,609 |
| 教育債 | 8,320,094,069 | 2,599,400,000 | 732,401,040 | 10,187,093,029 |
| 減収補てん債 | 1,016,731,066 | 0 | 119,307,194 | 897,423,872 |
| 減税補てん債 | 365,811,201 | 0 | 140,768,831 | 225,042,370 |
| 臨時財政対策債 | 6,118,484,225 | 0 | 988,438,430 | 5,130,045,795 |
| 調整債 | 874,415,749 | 0 | 177,213,810 | 697,201,939 |
| 合計 | 57,646,416,533 | 8,128,100,000 | 4,890,897,446 | 60,883,619,087 |

令和4年度末の市債現在高は60,883,619,087円で、前年度末現在高57,646,416,533円と比較すると3,237,202,554円(5.6%)増加している。

これは主に、消防債の発行額が減少したものの、中学校給食施設整備事業等に伴い、教育債の発行額が増加したことによるものである。

(3) 歳出の状況

一般会計の歳出決算の状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | | | 不用額 | 執行率 |
|----|-----------------|-----------------|--------------|---------------|-------------|---------------|------|
| | | | 継続費 遞次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越し | | |
| 4 | 108,536,824,985 | 100,521,107,813 | 587,356,903 | 2,369,833,952 | 2,068,000 | 5,056,458,317 | 92.6 |
| 3 | 105,052,469,977 | 97,385,025,829 | 700,230,470 | 2,118,846,115 | 51,154,400 | 4,797,213,163 | 92.7 |
| 増減 | 3,484,355,008 | 3,136,081,984 | △112,873,567 | 250,987,837 | △49,086,400 | 259,245,154 | △0.1 |

予算現額 108,536,824,985 円に対し、支出済額は 100,521,107,813 円で、前年度と比較すると 3,136,081,984 円(3.2%)増加している。予算現額に対する執行率は 92.6%である。

歳出決算額を款別に前年度と比較すると、増減額の主なものは、教育費が 5,788,046,938 円(77.5%)、総務費が 837,156,793 円(6.9%)増加し、民生費が 1,921,498,854 円(4.8%)、消防費が 582,461,892 円(14.8%)減少している。

翌年度繰越額は 2,959,258,855 円で、前年度と比較すると 89,027,870 円(3.1%)増加している。翌年度繰越額の主なものは、土木費 1,263,593,980 円、衛生費 858,637,575 円である。

不用額は 5,056,458,317 円で、前年度と比較すると 259,245,154 円(5.4%)増加している。不用額の主なものは、民生費 2,212,827,140 円、総務費 728,532,061 円、衛生費 640,953,147 円である。

歳出決算額の内訳は、次のとおりである。

【款別歳出決算状況】

(単位：円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | | | 不用額 | 執行率 |
|-----------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|------------|---------------|------|
| | | | 継 続 費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事 故 繰越し | | |
| 5 議会費 | 461,564,000 | 428,087,911 | 0 | 0 | 0 | 33,476,089 | 92.7 |
| 10 総務費 | 13,777,097,624 | 13,033,565,563 | 0 | 15,000,000 | 0 | 728,532,061 | 94.6 |
| 15 民生費 | 40,266,824,286 | 38,053,997,146 | 0 | 0 | 0 | 2,212,827,140 | 94.5 |
| 20 衛生費 | 12,816,597,000 | 11,317,006,278 | 0 | 856,569,575 | 2,068,000 | 640,953,147 | 88.3 |
| 25 労働費 | 213,679,000 | 202,847,528 | 0 | 0 | 0 | 10,831,472 | 94.9 |
| 30 農林水産業費 | 924,899,800 | 795,921,000 | 0 | 76,736,000 | 0 | 52,242,800 | 86.1 |
| 35 商工費 | 3,754,132,000 | 3,638,162,695 | 0 | 36,498,000 | 0 | 79,471,305 | 96.9 |
| 40 土木費 | 13,070,750,996 | 11,328,126,964 | 587,356,903 | 676,237,077 | 0 | 479,030,052 | 86.7 |
| 45 消防費 | 3,592,861,191 | 3,343,865,733 | 0 | 69,518,300 | 0 | 179,477,158 | 93.1 |
| 50 教育費 | 14,390,592,900 | 13,253,533,289 | 0 | 639,275,000 | 0 | 497,784,611 | 92.1 |
| 60 公債費 | 5,197,484,000 | 5,125,993,706 | 0 | 0 | 0 | 71,490,294 | 98.6 |
| 70 予備費 | 70,342,188 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,342,188 | 0.0 |
| 合 計 | 108,536,824,985 | 100,521,107,813 | 587,356,903 | 2,369,833,952 | 2,068,000 | 5,056,458,317 | 92.6 |

【款別歳出決算対前年度比較】

(単位：円・%)

| 区 分 | 4 年度 | | 3 年度 | | 対前年度 | |
|-----------|-----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| | 支出済額 | 構成比 | 支出済額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 5 議会費 | 428,087,911 | 0.4 | 428,947,678 | 0.4 | △859,767 | △0.2 |
| 10 総務費 | 13,033,565,563 | 13.0 | 12,196,408,770 | 12.5 | 837,156,793 | 6.9 |
| 15 民生費 | 38,053,997,146 | 37.8 | 39,975,496,000 | 41.0 | △1,921,498,854 | △4.8 |
| 20 衛生費 | 11,317,006,278 | 11.3 | 11,844,883,425 | 12.2 | △527,877,147 | △4.5 |
| 25 労働費 | 202,847,528 | 0.2 | 207,164,511 | 0.2 | △4,316,983 | △2.1 |
| 30 農林水産業費 | 795,921,000 | 0.8 | 662,328,280 | 0.7 | 133,592,720 | 20.2 |
| 35 商工費 | 3,638,162,695 | 3.6 | 3,976,802,167 | 4.1 | △338,639,472 | △8.5 |
| 40 土木費 | 11,328,126,964 | 11.3 | 11,470,835,628 | 11.8 | △142,708,664 | △1.2 |
| 45 消防費 | 3,343,865,733 | 3.3 | 3,926,327,625 | 4.0 | △582,461,892 | △14.8 |
| 50 教育費 | 13,253,533,289 | 13.2 | 7,465,486,351 | 7.7 | 5,788,046,938 | 77.5 |
| 60 公債費 | 5,125,993,706 | 5.1 | 5,230,345,394 | 5.4 | △104,351,688 | △2.0 |
| 70 予備費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| 合 計 | 100,521,107,813 | 100.0 | 97,385,025,829 | 100.0 | 3,136,081,984 | 3.2 |

歳出決算額を性質別に区分すると、次のとおりである。

【性質別歳出決算状況】

(単位：千円・%)

| 区 分 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | |
|---------------|-------------|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 決 算 額 | 構 成 比 | 決 算 額 | 構 成 比 | 増減額 | 増減率 |
| 消 費 的 経 費 | 67,883,451 | 67.5 | 69,722,261 | 71.6 | △1,838,810 | △2.6 |
| 人 件 費 | 15,603,157 | 15.5 | 15,974,572 | 16.4 | △371,415 | △2.3 |
| 物 件 費 | 16,455,444 | 16.4 | 16,055,430 | 16.5 | 400,014 | 2.5 |
| 維 持 補 修 費 | 1,602,330 | 1.6 | 1,570,691 | 1.6 | 31,639 | 2.0 |
| 扶 助 費 | 25,822,658 | 25.7 | 28,748,206 | 29.5 | △2,925,548 | △10.2 |
| 補 助 費 等 | 8,399,862 | 8.3 | 7,373,362 | 7.6 | 1,026,500 | 13.9 |
| 投 資 的 経 費 | 12,076,973 | 12.0 | 9,960,951 | 10.2 | 2,116,022 | 21.2 |
| 普 通 建 設 事 業 費 | 12,076,973 | 12.0 | 9,960,951 | 10.2 | 2,116,022 | 21.2 |
| 災 害 復 旧 事 業 費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| そ の 他 の 経 費 | 20,560,684 | 20.5 | 17,701,814 | 18.2 | 2,858,870 | 16.2 |
| 公 債 費 | 5,125,994 | 5.1 | 5,230,345 | 5.4 | △104,351 | △2.0 |
| 繰 出 金 | 6,299,525 | 6.3 | 5,937,729 | 6.1 | 361,796 | 6.1 |
| そ の 他 | 9,135,165 | 9.1 | 6,533,740 | 6.7 | 2,601,425 | 39.8 |
| 合 計 | 100,521,108 | 100.0 | 97,385,026 | 100.0 | 3,136,082 | 3.2 |

歳出決算額を性質別で見ると、消費的経費は67,883,451千円で、前年度と比較すると、1,838,810千円(2.6%)減少している。

これは主に、扶助費の子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費が2,954,760千円(98.8%)減少したことによるものである。

歳出総額に占める割合は67.5%で、前年度と比較すると4.1ポイント低下している。

投資的経費は12,076,973千円で、前年度と比較すると、2,116,022千円(21.2%)増加している。

これは主に、普通建設事業費の中学校給食施設整備事業費が2,404,906千円(皆増)増加したことによるものである。

歳出総額に占める割合は12.0%で、前年度と比較すると1.8ポイント上昇している。

その他の経費は20,560,684千円で、前年度と比較すると、2,858,870千円(16.2%)増加している。

これは主に、その他の学校施設整備基金積立金が2,400,001千円(皆増)増加したことによるものである。

歳出総額に占める割合は20.5%で、前年度と比較すると2.3ポイント上昇している。

第5款 議会費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|--------|------------|------|
| 4 | 461,564,000 | 428,087,911 | 0 | 33,476,089 | 92.7 |
| 3 | 448,182,000 | 428,947,678 | 0 | 19,234,322 | 95.7 |
| 増減 | 13,382,000 | △859,767 | 0 | 14,241,767 | △3.0 |

議会費の支出済額は428,087,911円で、前年度と比較すると859,767円(0.2%)減少している。

これは主に、政務活動費補助金が3,330,583円(22.6%)増加したものの、職員給与費が2,188,657円(1.8%)、議員報酬等が1,810,160円(0.7%)減少したことによるものである。

不用額は33,476,089円で、前年度と比較すると14,241,767円(74.0%)増加している。

第10款 総務費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|-------------|-------------|------|
| 4 | 13,777,097,624 | 13,033,565,563 | 15,000,000 | 728,532,061 | 94.6 |
| 3 | 12,996,799,750 | 12,196,408,770 | 82,750,400 | 717,640,580 | 93.8 |
| 増減 | 780,297,874 | 837,156,793 | △67,750,400 | 10,891,481 | 0.8 |

【支出済額の内訳】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-----------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 総務管理費 | 7,949,349,237 | 8,150,981,289 | △201,632,052 | △2.5 |
| 企画文化費 | 3,268,862,567 | 2,252,392,947 | 1,016,469,620 | 45.1 |
| 徴税費 | 974,363,979 | 1,011,634,706 | △37,270,727 | △3.7 |
| 戸籍住民基本台帳費 | 556,187,167 | 566,701,447 | △10,514,280 | △1.9 |
| 選挙費 | 208,299,695 | 124,936,516 | 83,363,179 | 66.7 |
| 統計調査費 | 23,153,241 | 31,580,791 | △8,427,550 | △26.7 |
| 監査委員費 | 53,349,677 | 58,181,074 | △4,831,397 | △8.3 |
| 合計 | 13,033,565,563 | 12,196,408,770 | 837,156,793 | 6.9 |

総務費の支出済額は13,033,565,563円で、前年度と比較すると837,156,793円(6.9%)増加している。

これは主に、総務管理費の職員給与費(一般職)が605,887,403円(17.7%)減少したものの、企画文化費の庁舎整備基金積立金が1,000,666,409円(99.7%)、総務管理費の財政調整基金積立金(ふるさと納税等分)が428,321,511円(42.1%)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、地域集会施設建設費等補助金の繰越明許費15,000,000円である。

不用額は728,532,061円で、前年度と比較すると10,891,481円(1.5%)増加している。

第15款 民生費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|--------------|---------------|------|
| 4 | 40,266,824,286 | 38,053,997,146 | 0 | 2,212,827,140 | 94.5 |
| 3 | 42,321,188,500 | 39,975,496,000 | 782,802,286 | 1,562,890,214 | 94.5 |
| 増減 | △2,054,364,214 | △1,921,498,854 | △782,802,286 | 649,936,926 | 0.0 |

【支出済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------|----|----------------|----------------|----------------|-------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 社会福祉費 | | 16,606,577,919 | 15,953,021,655 | 653,556,264 | 4.1 |
| 児童福祉費 | | 15,050,746,892 | 17,604,459,467 | △2,553,712,575 | △14.5 |
| 生活保護費 | | 6,394,582,335 | 6,416,984,878 | △22,402,543 | △0.3 |
| 災害救助費 | | 2,090,000 | 1,030,000 | 1,060,000 | 102.9 |
| 合計 | | 38,053,997,146 | 39,975,496,000 | △1,921,498,854 | △4.8 |

民生費の支出済額は38,053,997,146円で、前年度と比較すると1,921,498,854円(4.8%)減少している。

これは主に、社会福祉費の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費が968,950,000円(皆増)、児童福祉費の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費が244,600,000円(皆増)増加したものの、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費が2,954,760,000円(98.8%)減少したことによるものである。

不用額は2,212,827,140円で、前年度と比較すると649,936,926円(41.6%)増加している。

第20款 衛生費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|-------------|---------------|------|
| 4 | 12,816,597,000 | 11,317,006,278 | 858,637,575 | 640,953,147 | 88.3 |
| 3 | 12,848,328,000 | 11,844,883,425 | 0 | 1,003,444,575 | 92.2 |
| 増減 | △31,731,000 | △527,877,147 | 858,637,575 | △362,491,428 | △3.9 |

【支出済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------|----|----------------|----------------|--------------|------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 保健衛生費 | | 6,755,022,792 | 7,432,319,847 | △677,297,055 | △9.1 |
| 清掃費 | | 4,561,983,486 | 4,412,563,578 | 149,419,908 | 3.4 |
| 合計 | | 11,317,006,278 | 11,844,883,425 | △527,877,147 | △4.5 |

衛生費の支出済額は11,317,006,278円で、前年度と比較すると527,877,147円(4.5%)減少している。

これは主に、保健衛生費の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等過年度返還金が552,945,609円(皆増)増加したものの、一般廃棄物処理施設建設基金積立金が998,631,542円(99.8%)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、6事業、858,637,575円であり、主なものは、病院事業会計負担金(災害対策分)315,000,000円、新型コロナウイルスワクチン接種事業費230,946,078円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費203,988,000円の繰越明許費、衛生プラント維持補修事業費2,068,000円の事故繰越しである。

不用額は640,953,147円で、前年度と比較すると362,491,428円(36.1%)減少している。

第25款 労働費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|------------|-------------|------|
| 4 | 213,679,000 | 202,847,528 | 0 | 10,831,472 | 94.9 |
| 3 | 232,201,000 | 207,164,511 | 2,820,000 | 22,216,489 | 89.2 |
| 増減 | △18,522,000 | △4,316,983 | △2,820,000 | △11,385,017 | 5.7 |

労働費の支出済額は202,847,528円で、前年度と比較すると4,316,983円(2.1%)減少している。

これは主に、勤労者奨学金返済助成金が5,544,052円(110.1%)増加したものの、(公財)厚木市勤労者福祉サービスセンター補助金が6,605,201円(19.8%)、テレワーク導入支援補助金が2,398,580円(75.3%)減少したことによるものである。

不用額は10,831,472円で、前年度と比較すると11,385,017円(51.2%)減少している。

第30款 農林水産業費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|-------------|-------------|------------|------------|------|
| 4 | 924,899,800 | 795,921,000 | 76,736,000 | 52,242,800 | 86.1 |
| 3 | 741,489,000 | 662,328,280 | 29,428,800 | 49,731,920 | 89.3 |
| 増減 | 183,410,800 | 133,592,720 | 47,307,200 | 2,510,880 | △3.2 |

【支出済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | | |
|---|----|------|-------------|-------------|-------------|------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 | |
| 農 | 業 | 費 | 726,066,585 | 599,171,921 | 126,894,664 | 21.2 |
| 林 | 業 | 費 | 69,854,415 | 63,156,359 | 6,698,056 | 10.6 |
| 合 | 計 | | 795,921,000 | 662,328,280 | 133,592,720 | 20.2 |

農林水産業費の支出済額は795,921,000円で、前年度と比較すると133,592,720円(20.2%)増加している。

これは主に、農業費の小沢地区農業水利施設予防保全事業負担金が33,945,600円(著増)、飼料価格高騰対策交付金が32,360,000円(皆増)、道水路等維持補修事業費が13,933,858円(22.6%)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、2事業、76,736,000円であり、内訳は、産地パワーアップ事業費補助金70,526,000円、県営かんがい排水事業(相模川右岸幹線改修工事)負担金(その2)6,210,000円の繰越明許費である。

不用額は52,242,800円で、前年度と比較すると2,510,880円(5.0%)増加している。

第35款 商工費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 4 | 3,754,132,000 | 3,638,162,695 | 36,498,000 | 79,471,305 | 96.9 |
| 3 | 4,151,394,690 | 3,976,802,167 | 0 | 174,592,523 | 95.8 |
| 増減 | △397,262,690 | △338,639,472 | 36,498,000 | △95,121,218 | 1.1 |

商工費の支出済額は3,638,162,695円で、前年度と比較すると338,639,472円(8.5%)減少している。

これは主に、あつぎ生活応援キャッシュバック事業費が360,000,000円(皆増)、原油価格・物価高騰対策交付金が261,610,444円(皆増)増加したものの、中小企業応援交付金が785,806,914円(皆減)、あつぎ飲食店応援電子商品券事業費が177,625,307円(皆減)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、アミューあつぎ改修事業費(中長期保全)の繰越明許費36,498,000円である。

不用額は79,471,305円で、前年度と比較すると95,121,218円(54.5%)減少している。

第40款 土木費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|---------------|-------------|------|
| 4 | 13,070,750,996 | 11,328,126,964 | 1,263,593,980 | 479,030,052 | 86.7 |
| 3 | 13,059,540,157 | 11,470,835,628 | 1,124,213,929 | 464,490,600 | 87.8 |
| 増減 | 11,210,839 | △142,708,664 | 139,380,051 | 14,539,452 | △1.1 |

【支出済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|---------|----|----------------|----------------|--------------|------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 土木管理費 | | 1,040,408,846 | 983,596,077 | 56,812,769 | 5.8 |
| 道路橋りょう費 | | 3,053,027,790 | 3,027,776,972 | 25,250,818 | 0.8 |
| 河川費 | | 271,286,394 | 276,823,312 | △5,536,918 | △2.0 |
| 都市計画費 | | 6,571,779,037 | 6,838,359,762 | △266,580,725 | △3.9 |
| 住宅費 | | 391,624,897 | 344,279,505 | 47,345,392 | 13.8 |
| 合計 | | 11,328,126,964 | 11,470,835,628 | △142,708,664 | △1.2 |

土木費の支出済額は 11,328,126,964 円で、前年度と比較すると 142,708,664 円(1.2%)減少している。

これは主に、道路橋りょう費の道路維持補修事業費が 515,548,176 円(101.0%)、都市計画費の厚木環状3号線街路整備事業費が 391,113,019 円(461.4%)、複合施設整備事業費(継続費)が 230,483,000 円(170.4%)増加したものの、厚木環状3号線(第2工区)街路整備事業費(継続費)が 1,778,999,196 円(皆減)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、13事業、1,263,593,980 円であり、主なものは、厚木環状3号線(第4工区)街路整備事業費(継続費)263,781,500 円、厚木環状3号線交差点整備事業費(継続費)253,575,403 円の継続費通次繰越、厚木環状3号線街路整備事業費223,021,601 円の繰越明許費である。

不用額は 479,030,052 円で、前年度と比較すると 14,539,452 円(3.1%)増加している。

第45款 消防費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 4 | 3,592,861,191 | 3,343,865,733 | 69,518,300 | 179,477,158 | 93.1 |
| 3 | 4,100,987,480 | 3,926,327,625 | 12,029,670 | 162,630,185 | 95.7 |
| 増減 | △508,126,289 | △582,461,892 | 57,488,630 | 16,846,973 | △2.6 |

消防費の支出済額は3,343,865,733円で、前年度と比較すると582,461,892円(14.8%)減少している。

これは主に、相川分署解体事業費(継続費)が114,667,440円(663.0%)、南毛利分署解体事業費が91,896,646円(皆増)増加したものの、相川分署新築事業費(継続費)が449,823,880円(皆減)、南毛利分署新築事業費(継続費)が430,499,500円(皆減)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、3事業、69,518,300円であり、内訳は、浸水防止対策事業補助金49,544,000円、指定避難所等強化事業費18,030,000円、被災者支援システム運用事業費1,944,300円の繰越明許費である。

不用額は179,477,158円で、前年度と比較すると16,846,973円(10.4%)増加している。

第50款 教育費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|--------------|-------------|------|
| 4 | 14,390,592,900 | 13,253,533,289 | 639,275,000 | 497,784,611 | 92.1 |
| 3 | 8,774,345,960 | 7,465,486,351 | 836,185,900 | 472,673,709 | 85.1 |
| 増減 | 5,616,246,940 | 5,788,046,938 | △196,910,900 | 25,110,902 | 7.0 |

【支出済額の内訳】

(単位：円・%)

| 項 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------|----|----------------|---------------|---------------|-------|
| | | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 教育総務費 | | 3,823,583,801 | 1,311,930,413 | 2,511,653,388 | 191.4 |
| 小学校費 | | 2,816,261,329 | 2,713,726,092 | 102,535,237 | 3.8 |
| 中学校費 | | 4,272,770,734 | 1,403,770,408 | 2,869,000,326 | 204.4 |
| 社会教育費 | | 1,478,937,300 | 1,446,071,106 | 32,866,194 | 2.3 |
| 保健体育費 | | 861,980,125 | 589,988,332 | 271,991,793 | 46.1 |
| 合計 | | 13,253,533,289 | 7,465,486,351 | 5,788,046,938 | 77.5 |

教育費の支出済額は13,253,533,289円で、前年度と比較すると5,788,046,938円(77.5%)増加している。

これは主に、中学校費の施設運営事業費が189,720,535円(62.0%)減少したものの、中学校給食施設整備事業費が2,731,704,237円(著増)、教育総務費の学校施設整備基金積立金が2,400,001,418円(皆増)増加したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、8事業、639,275,000円であり、主なものは、中学校校舎・体育館改修事業費(長寿命化)(その2)192,247,000円、小学校校庭整備事業費(その2)150,000,000円、中学校LED化推進事業費(その2)54,600,000円の繰越明許費である。

不用額は497,784,611円で、前年度と比較すると25,110,902円(5.3%)増加している。

第60款 公債費

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|--------|-------------|------|
| 4 | 5,197,484,000 | 5,125,993,706 | 0 | 71,490,294 | 98.6 |
| 3 | 5,328,439,000 | 5,230,345,394 | 0 | 98,093,606 | 98.2 |
| 増減 | △130,955,000 | △104,351,688 | 0 | △26,603,312 | 0.4 |

公債費の支出済額は5,125,993,706円で、前年度と比較すると104,351,688円(2.0%)減少している。
不用額は71,490,294円で、前年度と比較すると26,603,312円(27.1%)減少している。

第70款 予備費

(単位：円・%)

| 年度 | 当初予算額 | 補正予算額 | 充用額 | 不用額 | 充用率 |
|----|-------------|-------|-------------|------------|-------|
| 4 | 100,000,000 | 0 | 29,657,812 | 70,342,188 | 29.7 |
| 3 | 100,000,000 | 0 | 50,425,560 | 49,574,440 | 50.4 |
| 増減 | 0 | 0 | △20,767,748 | 20,767,748 | △20.7 |

予備費の充用額は29,657,812円で、前年度と比較すると20,767,748円(41.2%)減少している。

充用額の内訳は、教育費(施設維持補修事業費等)11,805,000円、消防費(消防庁舎維持補修事業費等)5,037,521円、総務費(防犯灯維持管理事業費)4,488,224円、衛生費(衛生プラント維持補修事業費)4,424,000円、土木費(道路施設維持管理事業費)2,068,067円、民生費(災害見舞金支給等事業費)1,835,000円である。

6 特別会計

(1) 決算収支の状況

特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区 分 | 4 年度 | 3 年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|----------------|----------------|-------------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予算現額 (A) | 43,221,729,666 | 42,634,831,087 | 586,898,579 | 1.4 |
| 歳入決算額 (B) | 42,167,283,224 | 41,549,953,956 | 617,329,268 | 1.5 |
| 歳出決算額 (C) | 41,531,491,920 | 41,261,823,677 | 269,668,243 | 0.7 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支) (B-C) (D) | 635,791,304 | 288,130,279 | 347,661,025 | 120.7 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 96,498 | 94,666 | 1,832 | 1.9 |
| 実質収支額 (D-E) (F) | 635,694,806 | 288,035,613 | 347,659,193 | 120.7 |
| 単年度収支額 (G) | 347,659,193 | △143,843,974 | 491,503,167 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

【歳入歳出決算総括表】

(単位：円)

| 区 分 会計別 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出差引 額(形式収支) | 翌年度繰越 財源額 | 実質収支額 |
|---------------|----------------|----------------|-------------------|--------------|-------------|
| 公共用地 取得事業 | 1,533,554,155 | 1,533,457,657 | 96,498 | 96,498 | 0 |
| 後期高齢者 医療事業 | 3,399,998,625 | 3,360,334,772 | 39,663,853 | 0 | 39,663,853 |
| 国民健康 保険事業 | 20,999,328,985 | 20,937,230,635 | 62,098,350 | 0 | 62,098,350 |
| 介護保 険事業 | 16,234,401,459 | 15,700,468,856 | 533,932,603 | 0 | 533,932,603 |
| 合 計 | 42,167,283,224 | 41,531,491,920 | 635,791,304 | 96,498 | 635,694,806 |

特別会計は、公共用地取得事業特別会計をはじめとする4特別会計である。

特別会計の決算総額は、歳入42,167,283,224円、歳出41,531,491,920円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が617,329,268円(1.5%)、歳出が269,668,243円(0.7%)増加している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は635,791,304円となり、翌年度へ繰り越すべき財源96,498円を控除した実質収支額は635,694,806円である。

単年度収支額は、347,659,193円の黒字となっている。

【一般会計からの繰入状況】

(単位：円・%)

| 区分 会計別 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | |
|-----------|---------------|-------------|---------------|-------------|-------------|-----|
| | 繰入額 | 一般会計 依存度 | 繰入額 | 一般会計 依存度 | 増減額 | 増減率 |
| 公共用地取得事業 | 65,640,834 | 4.3 | 64,601,439 | 4.1 | 1,039,395 | 1.6 |
| 後期高齢者医療事業 | 568,146,668 | 16.7 | 539,419,749 | 16.9 | 28,726,919 | 5.3 |
| 国民健康保険事業 | 1,432,810,139 | 6.8 | 1,411,850,701 | 6.5 | 20,959,438 | 1.5 |
| 介護保険事業 | 2,482,371,000 | 15.3 | 2,327,222,000 | 15.3 | 155,149,000 | 6.7 |
| 合計 | 4,548,968,641 | 10.8 | 4,343,093,889 | 10.5 | 205,874,752 | 4.7 |

※繰入額は、一般会計からの繰入額から一般会計への繰出額を差し引いた額である。

一般会計からの繰入金総額は4,548,968,641円で、前年度と比較すると205,874,752円(4.7%)増加している。

これは主に、介護保険事業の介護給付費繰入金が増加した139,386,000円(8.0%)によるものである。

(2) 歳入・歳出の状況

ア 公共用地取得事業特別会計

公共用地取得事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|---------------|---------------|--------------|------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予算現額 (A) | 1,609,856,666 | 1,761,157,837 | △151,301,171 | △8.6 |
| 歳入決算額 (B) | 1,533,554,155 | 1,590,501,406 | △56,947,251 | △3.6 |
| 歳出決算額 (C) | 1,533,457,657 | 1,590,406,740 | △56,949,083 | △3.6 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支) (B-C) (D) | 96,498 | 94,666 | 1,832 | 1.9 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 96,498 | 94,666 | 1,832 | 1.9 |
| 実質収支額 (D-E) (F) | 0 | 0 | 0 | — |
| 単年度収支額 (G) | 0 | 0 | 0 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

公共用地取得事業特別会計の決算額は、歳入1,533,554,155円、歳出1,533,457,657円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が56,947,251円(3.6%)、歳出が56,949,083円(3.6%)減少している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は96,498円の黒字となるが、翌年度へ繰り越すべき財源が同額の96,498円であるため、実質収支額、単年度収支額はともに0円となっている。

(ア) 歳 入

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-------|-------|------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 1,609,856,666 | 1,533,554,155 | 1,533,554,155 | 0 | 0 | 95.3 | 100.0 |
| 3 | 1,761,157,837 | 1,590,501,406 | 1,590,501,406 | 0 | 0 | 90.3 | 100.0 |
| 増減 | △151,301,171 | △56,947,251 | △56,947,251 | 0 | 0 | 5.0 | 0.0 |

収入済額は1,533,554,155円で、前年度と比較すると56,947,251円(3.6%)減少している。

これは主に、財産収入の市有地売払収入が191,560,573円(27.2%)増加したものの、市債の厚木秦野道路用地取得事業債(用地国債)が252,400,000円(34.6%)減少したことによるものである。

【款別収入状況】

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|---------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 財産収入 | 896,224,443 | 704,663,870 | 191,560,573 | 27.2 |
| 繰入金 | 114,620,545 | 109,937,569 | 4,682,976 | 4.3 |
| 市債 | 478,100,000 | 730,500,000 | △252,400,000 | △34.6 |
| 諸収入 | 44,514,501 | 45,336,130 | △821,629 | △1.8 |
| 繰越金 | 94,666 | 63,837 | 30,829 | 48.3 |
| 合計 | 1,533,554,155 | 1,590,501,406 | △56,947,251 | △3.6 |

(イ) 歳出

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|-------------|-------------|------|
| 4 | 1,609,856,666 | 1,533,457,657 | 75,896,498 | 502,511 | 95.3 |
| 3 | 1,761,157,837 | 1,590,406,740 | 135,794,666 | 34,956,431 | 90.3 |
| 増減 | △151,301,171 | △56,949,083 | △59,898,168 | △34,453,920 | 5.0 |

支出済額は1,533,457,657円で、前年度と比較すると56,949,083円(3.6%)減少している。

これは主に、公債費の市債元金(用地国債分)が191,925,000円(27.3%)増加したものの、公共用地先行取得事業費の厚木秦野道路用地取得事業費(用地国債)が252,567,522円(34.6%)減少したことによるものである。

翌年度への繰越事業は、1事業、75,896,498円であり、内訳は、厚木秦野道路用地取得事業費(用地国債)の繰越明許費49,804,051円、事故繰越し26,092,447円である。

不用額は502,511円で、前年度と比較すると34,453,920円(98.6%)減少している。

【款別支出状況】

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 公債費 | 1,006,168,346 | 813,980,873 | 192,187,473 | 23.6 |
| 公共用地先行取得事業費 | 478,309,600 | 731,089,737 | △252,780,137 | △34.6 |
| 繰出金 | 48,979,711 | 45,336,130 | 3,643,581 | 8.0 |
| 合計 | 1,533,457,657 | 1,590,406,740 | △56,949,083 | △3.6 |

(ウ) 市 債

市債現在高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 区 分 | 令和3年度末 現在高 | 令和4年度 発行額 | 令和4年度 元金償還金額 | 令和4年度末 現在高 |
|------------------|---------------|--------------|-----------------|---------------|
| 公共用地取得事業 | 598,611,363 | 0 | 108,768,748 | 489,842,615 |
| 厚木秦野道路 用地取得事業 | 2,104,366,667 | 478,100,000 | 894,758,333 | 1,687,708,334 |
| 合 計 | 2,702,978,030 | 478,100,000 | 1,003,527,081 | 2,177,550,949 |

令和4年度末の市債現在高は2,177,550,949円で、前年度末現在高2,702,978,030円と比較すると525,427,081円(19.4%)減少している。

これは主に、用地国債先行取得制度を活用した厚木秦野道路用地取得事業の発行額が252,400,000円(34.6%)減少したことによるものである。

イ 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予算現額 (A) | 3,556,254,000 | 3,276,476,000 | 279,778,000 | 8.5 |
| 歳入決算額 (B) | 3,399,998,625 | 3,186,493,657 | 213,504,968 | 6.7 |
| 歳出決算額 (C) | 3,360,334,772 | 3,147,565,309 | 212,769,463 | 6.8 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支) (B-C) (D) | 39,663,853 | 38,928,348 | 735,505 | 1.9 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実質収支額 (D-E) (F) | 39,663,853 | 38,928,348 | 735,505 | 1.9 |
| 単年度収支額 (G) | 735,505 | 1,370,763 | △635,258 | △46.3 |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

後期高齢者医療事業特別会計の決算額は、歳入3,399,998,625円、歳出3,360,334,772円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が213,504,968円(6.7%)、歳出が212,769,463円(6.8%)増加している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに39,663,853円である。

単年度収支額は、735,505円の黒字となっている。

(ア) 歳入

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|---------------|---------------|---------------|-----------|------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 3,556,254,000 | 3,420,412,736 | 3,399,998,625 | 1,629,517 | 18,784,594 | 95.6 | 99.4 |
| 3 | 3,276,476,000 | 3,205,452,287 | 3,186,493,657 | 1,760,990 | 17,197,640 | 97.3 | 99.4 |
| 増減 | 279,778,000 | 214,960,449 | 213,504,968 | △131,473 | 1,586,954 | △1.7 | 0.0 |

収入済額は3,399,998,625円で、前年度と比較すると213,504,968円(6.7%)増加している。これは主に、後期高齢者医療保険料の現年度分保険料が185,227,995円(7.1%)増加したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額は、全て後期高齢者医療保険料である。

【款別収入状況】

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|----------------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 後期高齢者 医療保険料 | 2,789,140,339 | 2,604,994,098 | 184,146,241 | 7.1 |
| 財産収入 | 81,624 | 68,486 | 13,138 | 19.2 |
| 繰入金 | 568,146,668 | 539,419,749 | 28,726,919 | 5.3 |
| 繰越金 | 38,928,348 | 37,557,585 | 1,370,763 | 3.6 |
| 諸収入 | 3,701,646 | 4,453,739 | △752,093 | △16.9 |
| 合計 | 3,399,998,625 | 3,186,493,657 | 213,504,968 | 6.7 |

なお、後期高齢者医療保険料(現年分・滞納繰越分別)収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|---------|-------|---------------|---------------|-----------|------------|------|
| 4 年度 | 現年分 | 2,792,602,470 | 2,781,870,186 | 0 | 10,732,284 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 16,951,980 | 7,270,153 | 1,629,517 | 8,052,310 | 42.9 |
| | 計 | 2,809,554,450 | 2,789,140,339 | 1,629,517 | 18,784,594 | 99.3 |
| 3 年度 | 現年分 | 2,605,736,360 | 2,596,642,191 | 1,400 | 9,092,769 | 99.7 |
| | 滞納繰越分 | 18,216,368 | 8,351,907 | 1,759,590 | 8,104,871 | 45.8 |
| | 計 | 2,623,952,728 | 2,604,994,098 | 1,760,990 | 17,197,640 | 99.3 |
| 2 年度 | 現年分 | 2,541,356,200 | 2,531,902,864 | 0 | 9,453,336 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 18,557,757 | 7,110,988 | 2,897,710 | 8,549,059 | 38.3 |
| | 計 | 2,559,913,957 | 2,539,013,852 | 2,897,710 | 18,002,395 | 99.2 |

後期高齢者医療保険料の収入率は、99.3%で、前年度と同様である。

(イ) 歳 出

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------------|---------------|--------|-------------|------|
| 4 | 3,556,254,000 | 3,360,334,772 | 0 | 195,919,228 | 94.5 |
| 3 | 3,276,476,000 | 3,147,565,309 | 0 | 128,910,691 | 96.1 |
| 増減 | 279,778,000 | 212,769,463 | 0 | 67,008,537 | △1.6 |

支出済額は3,360,334,772円で、前年度と比較すると212,769,463円(6.8%)増加している。

これは主に、後期高齢者医療広域連合納付金が203,059,859円(6.8%)増加したことによるものである。

不用額は195,919,228円で、前年度と比較すると67,008,537円(52.0%)増加している。

【款別支出状況】

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|------------------------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 総務費 | 64,435,588 | 62,045,794 | 2,389,794 | 3.9 |
| 後期高齢者 医療広域連合 納付金 | 3,168,303,067 | 2,965,243,208 | 203,059,859 | 6.8 |
| 諸支出金 | 3,299,750 | 4,084,360 | △784,610 | △19.2 |
| 保健事業費 | 124,296,367 | 116,191,947 | 8,104,420 | 7.0 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計 | 3,360,334,772 | 3,147,565,309 | 212,769,463 | 6.8 |

(ウ) 被保険者数の状況

被保険者数を前年度と比較すると次のとおりである。

(単位：人・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 2年度 | 前年度比較 | |
|------------------|--------|--------|--------|-------|-----|
| | | | | 増減 | 増減率 |
| 被保険者数 (年度末現在) | 30,348 | 28,425 | 27,161 | 1,923 | 6.8 |

当年度末の被保険者数は30,348人で、前年度と比較すると1,923人(6.8%)の増加となっている。

ウ 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予算現額 (A) | 21,598,361,000 | 21,826,981,250 | △228,620,250 | △1.0 |
| 歳入決算額 (B) | 20,999,328,985 | 21,578,256,491 | △578,927,506 | △2.7 |
| 歳出決算額 (C) | 20,937,230,635 | 21,421,187,058 | △483,956,423 | △2.3 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支) (B-C) (D) | 62,098,350 | 157,069,433 | △94,971,083 | △60.5 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実質収支額 (D-E) (F) | 62,098,350 | 157,069,433 | △94,971,083 | △60.5 |
| 単年度収支額 (G) | △94,971,083 | △10,150,975 | △84,820,108 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入20,999,328,985円、歳出20,937,230,635円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が578,927,506円(2.7%)、歳出が483,956,423円(2.3%)減少している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに62,098,350円である。

単年度収支額は、94,971,083円の赤字となっている。

(ア) 歳入

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|------------|-------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 21,598,361,000 | 21,754,688,339 | 20,999,328,985 | 37,920,811 | 717,438,543 | 97.2 | 96.5 |
| 3 | 21,826,981,250 | 22,298,321,585 | 21,578,256,491 | 45,354,206 | 674,710,888 | 98.9 | 96.8 |
| 増減 | △228,620,250 | △543,633,246 | △578,927,506 | △7,433,395 | 42,727,655 | △1.7 | △0.3 |

収入済額は20,999,328,985円で、前年度と比較すると578,927,506円(2.7%)減少している。

これは主に、繰入金の国民健康保険事業基金繰入金が350,000,000円(皆増)増加したものの、県支出金の保険給付費等交付金(普通交付金)が651,866,088円(4.5%)、国民健康保険料の医療給付費分現年分が151,707,576円(4.8%)減少したことによるものである。

不納欠損額は、全て国民健康保険料である。

収入未済額の内訳は、国民健康保険料710,319,527円、諸収入7,119,016円である。

【款別収入状況】

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|---------|----|----------------|----------------|--------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 国民健康保険料 | | 4,663,350,160 | 4,927,748,182 | △264,398,022 | △5.4 |
| 国庫支出金 | | 191,000 | 17,486,000 | △17,295,000 | △98.9 |
| 県支出金 | | 14,324,687,565 | 14,957,355,653 | △632,668,088 | △4.2 |
| 財産収入 | | 630,437 | 605,630 | 24,807 | 4.1 |
| 繰入金 | | 1,782,810,139 | 1,411,850,701 | 370,959,438 | 26.3 |
| 繰越金 | | 157,069,433 | 180,417,658 | △23,348,225 | △12.9 |
| 諸収入 | | 70,590,251 | 82,792,667 | △12,202,416 | △14.7 |
| 合計 | | 20,999,328,985 | 21,578,256,491 | △578,927,506 | △2.7 |

なお、国民健康保険料(現年分・滞納繰越分別)の収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|-----|-------|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 4年度 | 現年分 | 4,745,151,600 | 4,445,941,825 | 0 | 299,209,775 | 93.7 |
| | 滞納繰越分 | 666,438,898 | 217,408,335 | 37,920,811 | 411,109,752 | 32.6 |
| | 計 | 5,411,590,498 | 4,663,350,160 | 37,920,811 | 710,319,527 | 86.2 |
| 3年度 | 現年分 | 4,944,514,500 | 4,668,509,510 | 53,700 | 275,951,290 | 94.4 |
| | 滞納繰越分 | 696,830,016 | 259,238,672 | 45,300,506 | 392,290,838 | 37.2 |
| | 計 | 5,641,344,516 | 4,927,748,182 | 45,354,206 | 668,242,128 | 87.4 |
| 2年度 | 現年分 | 4,966,969,000 | 4,671,643,159 | 42,800 | 295,283,041 | 94.1 |
| | 滞納繰越分 | 756,666,347 | 288,704,084 | 56,126,828 | 411,835,435 | 38.2 |
| | 計 | 5,723,635,347 | 4,960,347,243 | 56,169,628 | 707,118,476 | 86.7 |

国民健康保険料の収入率は86.2%で、前年度に対して1.2ポイント低下している。

(イ) 歳 出

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|--------|-------------|------|
| 4 | 21,598,361,000 | 20,937,230,635 | 0 | 661,130,365 | 96.9 |
| 3 | 21,826,981,250 | 21,421,187,058 | 0 | 405,794,192 | 98.1 |
| 増減 | △228,620,250 | △483,956,423 | 0 | 255,336,173 | △1.2 |

支出済額は20,937,230,635円で、前年度と比較すると483,956,423円(2.3%)減少している。

これは主に、国民健康保険事業費納付金の一般被保険者医療給付費分が228,127,726円(5.6%)増加したものの、保険給付費の一般被保険者療養給付費が515,122,860円(4.1%)、一般被保険者高額療養費が131,956,545円(7.2%)減少したことによるものである。

不用額は661,130,365円で、前年度と比較すると255,336,173円(62.9%)増加している。

【款別支出状況】

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|--------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 総務費 | 285,490,626 | 291,597,707 | △6,107,081 | △2.1 |
| 保険給付費 | 14,080,055,931 | 14,732,233,388 | △652,177,457 | △4.4 |
| 国民健康保険事業費納付金 | 6,369,777,570 | 6,188,472,695 | 181,304,875 | 2.9 |
| 保健事業費 | 186,495,995 | 191,464,498 | △4,968,503 | △2.6 |
| 基金積立金 | 126,718 | 154,458 | △27,740 | △18.0 |
| 諸支出金 | 15,283,795 | 17,264,312 | △1,980,517 | △11.5 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計 | 20,937,230,635 | 21,421,187,058 | △483,956,423 | △2.3 |

(ウ) 被保険者数等の状況

被保険者数を前年度と比較すると次のとおりである。

(単位：人・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 2年度 | 前年度比較 | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|------|
| | | | | 増減 | 増減率 |
| 被保険者数 (年度平均) | 45,994 | 47,802 | 48,736 | △1,808 | △3.8 |

被保険者数は45,994人で、前年度と比較すると1,808人(3.8%)減少している。

エ 介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|-----------------------------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 予算現額 (A) | 16,457,258,000 | 15,770,216,000 | 687,042,000 | 4.4 |
| 歳入決算額 (B) | 16,234,401,459 | 15,194,702,402 | 1,039,699,057 | 6.8 |
| 歳出決算額 (C) | 15,700,468,856 | 15,102,664,570 | 597,804,286 | 4.0 |
| 歳入歳出差引額 (形式収支) (B-C) (D) | 533,932,603 | 92,037,832 | 441,894,771 | 480.1 |
| 翌年度へ繰り越すべき 財源 (E) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実質収支額 (D-E) (F) | 533,932,603 | 92,037,832 | 441,894,771 | 480.1 |
| 単年度収支額 (G) | 441,894,771 | △135,063,762 | 576,958,533 | — |

※単年度収支額は、本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額である。

介護保険事業特別会計の決算額は、歳入16,234,401,459円、歳出15,700,468,856円である。決算額を前年度と比較すると、歳入が1,039,699,057円(6.8%)、歳出が597,804,286円(4.0%)増加している。歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額、実質収支額はともに533,932,603円である。

単年度収支額は、441,894,771円の黒字となっている。

(ア) 歳入

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----|----------------|----------------|----------------|-----------|------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 16,457,258,000 | 16,274,747,632 | 16,234,401,459 | 5,365,101 | 34,981,072 | 98.6 | 99.8 |
| 3 | 15,770,216,000 | 15,236,995,282 | 15,194,702,402 | 4,802,596 | 37,490,284 | 96.4 | 99.7 |
| 増減 | 687,042,000 | 1,037,752,350 | 1,039,699,057 | 562,505 | △2,509,212 | 2.2 | 0.1 |

収入済額は16,234,401,459円で、前年度と比較すると1,039,699,057円(6.8%)増加している。

これは主に、繰越金の前年度繰越金が135,063,762円(59.5%)減少したものの、繰入金の介護保険事業基金繰入金が500,000,000円(皆増)、国庫支出金の介護給付費負担金が205,309,609円(8.3%)、支払基金交付金の介護給付費交付金が199,642,938円(5.3%)増加したことによるものである。

不納欠損額及び収入未済額は、全て介護保険料である。

【款別収入状況】

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|---------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | 収入済額 | 収入済額 | 増減額 | 増減率 |
| 保 険 料 | 3,916,627,549 | 3,892,403,031 | 24,224,518 | 0.6 |
| 国庫支出金 | 2,955,884,833 | 2,748,754,249 | 207,130,584 | 7.5 |
| 支払基金交付金 | 4,033,230,541 | 3,823,898,901 | 209,331,640 | 5.5 |
| 県支出金 | 2,215,624,769 | 2,100,688,148 | 114,936,621 | 5.5 |
| 財産収入 | 869,775 | 957,959 | △88,184 | △9.2 |
| 繰入金 | 2,982,371,000 | 2,327,222,000 | 655,149,000 | 28.2 |
| 繰越金 | 92,037,832 | 227,101,594 | △135,063,762 | △59.5 |
| 諸収入 | 37,755,160 | 73,676,520 | △35,921,360 | △48.8 |
| 合 計 | 16,234,401,459 | 15,194,702,402 | 1,039,699,057 | 6.8 |

なお、介護保険料(現年分・滞納繰越分別)収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | | 調 定 額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 |
|-------------|-------|---------------|---------------|-----------|------------|------|
| 4 年 度 | 現 年 分 | 3,918,748,928 | 3,904,026,428 | 333 | 14,722,167 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 38,224,794 | 12,601,121 | 5,364,768 | 20,258,905 | 33.0 |
| | 計 | 3,956,973,722 | 3,916,627,549 | 5,365,101 | 34,981,072 | 99.0 |
| 3 年 度 | 現 年 分 | 3,892,746,279 | 3,877,796,304 | 0 | 14,949,975 | 99.6 |
| | 滞納繰越分 | 41,949,632 | 14,606,727 | 4,802,596 | 22,540,309 | 34.8 |
| | 計 | 3,934,695,911 | 3,892,403,031 | 4,802,596 | 37,490,284 | 98.9 |
| 2 年 度 | 現 年 分 | 3,829,000,304 | 3,810,141,360 | 41,533 | 18,817,411 | 99.5 |
| | 滞納繰越分 | 47,108,000 | 17,076,038 | 6,514,422 | 23,517,540 | 36.2 |
| | 計 | 3,876,108,304 | 3,827,217,398 | 6,555,955 | 42,334,951 | 98.7 |

介護保険料の収入率は99.0%で、前年度に対して0.1ポイント上昇している。

(イ) 歳 出

(単位：円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|----------------|----------------|--------|-------------|------|
| 4 | 16,457,258,000 | 15,700,468,856 | 0 | 756,789,144 | 95.4 |
| 3 | 15,770,216,000 | 15,102,664,570 | 0 | 667,551,430 | 95.8 |
| 増減 | 687,042,000 | 597,804,286 | 0 | 89,237,714 | △0.4 |

支出済額は15,700,468,856円で、前年度と比較すると597,804,286円(4.0%)増加している。

これは主に、基金積立金の介護保険事業基金積立金が200,670,587円(99.8%)減少したものの、保険給付費の居宅介護サービス給付費が378,756,194円(6.4%)、施設介護サービス給付費が305,239,126円(8.1%)増加したことによるものである。

不用額は756,789,144円で、前年度と比較すると89,237,714円(13.4%)増加している。

【款別支出状況】

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 対前年度 | |
|---------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 支出済額 | 支出済額 | 増減額 | 増減率 |
| 総務費 | 306,668,674 | 322,722,355 | △16,053,681 | △5.0 |
| 保険給付費 | 14,627,021,189 | 13,828,042,709 | 798,978,480 | 5.8 |
| 地域支援事業費 | 746,447,245 | 722,899,680 | 23,547,565 | 3.3 |
| 基金積立金 | 499,413 | 201,170,000 | △200,670,587 | △99.8 |
| 諸支出金 | 19,832,335 | 27,829,826 | △7,997,491 | △28.7 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計 | 15,700,468,856 | 15,102,664,570 | 597,804,286 | 4.0 |

(ウ) 被保険者数等の状況

被保険者数を前年度と比較すると次のとおりである。

(単位：人・%)

| 区 分 | 4年度 | 3年度 | 2年度 | 前年度比較 | |
|-------------------------|--------|--------|--------|-------|-----|
| | | | | 増 減 | 増減率 |
| 被保険者数 (年度末現在) | 58,589 | 58,383 | 57,906 | 206 | 0.4 |
| 要介護(要支援)認定者数 (年度末現在) | 9,332 | 8,944 | 8,528 | 388 | 4.3 |

当年度末の被保険者数は58,589人で、前年度と比較すると206人(0.4%)の増加となっている。

当年度末の要介護(要支援)認定者数は9,332人で、前年度と比較すると388人(4.3%)の増加となっている。

第7 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地及び建物

土地の決算年度末現在高を前年度末現在高と比較すると 2,963.38 m²増加している。

これは主に、旧相川分署、旧南毛利分署の用途廃止により減少したものの、瀬戸むつみ公園が用途変更されたことによる増加である。

建物の決算年度末現在高を前年度末現在高と比較すると 3,704.07 m²増加している。

これは主に、北部学校給食センターの新営による増加である。

(2) 物権（地上権）

決算年度末現在高は 147.09 m²で、前年度と同様である。

(3) 有価証券

決算年度末現在高は 53,779,900 円で、前年度と同様である。

(4) 出資による権利

決算年度末現在高は 1,010,300,218 円で、前年度と同様である。

| 区 分 | | 単位 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 | |
|------|---------------|------|-------------------|---------------|----------|---------------|
| 公有財産 | 土 地 | 行政財産 | (m ²) | 3,014,488.37 | 1,065.21 | 3,015,553.58 |
| | | 普通財産 | (m ²) | 1,060,872.22 | 1,898.17 | 1,062,770.39 |
| | | 計 | (m ²) | 4,075,360.59 | 2,963.38 | 4,078,323.97 |
| | 建 物 | 行政財産 | (m ²) | 564,981.91 | 3,704.07 | 568,685.98 |
| | | 普通財産 | (m ²) | 4,156.33 | 0.00 | 4,156.33 |
| | | 計 | (m ²) | 569,138.24 | 3,704.07 | 572,842.31 |
| | 物 権 | | (m ²) | 147.09 | 0.00 | 147.09 |
| | 有 価 証 券 | | (円) | 53,779,900 | 0 | 53,779,900 |
| | 出 資 に よ る 権 利 | | (円) | 1,010,300,218 | 0 | 1,010,300,218 |

2 物 品

取得価格が 100 万円以上の物品は、決算年度末現在 1,200 件で、前年度末と比較すると 69 件増加している。

これは、小型動力ポンプ積載車(消防) 3 件、コンピュータサーバー2 件等 22 件が減少したものの、回転釜 21 件、消毒保管庫 12 件、食器洗浄機 9 件等 91 件が増加したものである。

| 区 分 | 単位 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|-----|-----|---------|----------|----------|
| 物 品 | (件) | 1,131 | 69 | 1,200 |

3 資金積立基金

(単位：円)

| 区 分 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 財 政 調 整 基 金 | 15,292,622,579 | △1,155,266,443 | 14,137,356,136 |
| 国 民 健 康 保 険 事 業 基 金 | 903,121,202 | △199,873,282 | 703,247,920 |
| 社 会 福 祉 基 金 | 204,325,418 | 0 | 204,325,418 |
| 地 方 改 善 住 宅 新 築 等 資 金 | 8,039,000 | 0 | 8,039,000 |
| 借 入 金 償 還 準 備 基 金 | | | |
| 国 際 交 流 基 金 | 64,285,434 | 0 | 64,285,434 |
| 和 田 傳 文 学 基 金 | 4,700,662 | △857,615 | 3,843,047 |
| み ど り の 基 金 | 176,960,525 | 39,436 | 176,999,961 |
| 松 川 サ ク 工 業 振 興 基 金 | 6,935,037 | 0 | 6,935,037 |
| 文 化 芸 術 振 興 基 金 | 1,218,353 | 0 | 1,218,353 |
| ス ポ ー ツ 振 興 基 金 | 3,688,779 | 0 | 3,688,779 |
| 庁 舎 整 備 基 金 | 6,035,501,309 | 2,003,887,212 | 8,039,388,521 |
| 介 護 保 険 事 業 基 金 | 3,018,231,990 | △799,500,587 | 2,218,731,403 |
| 一 般 廃 棄 物 処 理 施 設 建 設 基 金 | 3,016,972,253 | 1,710,760 | 3,018,683,013 |
| S E L 教 育 基 金 | 796,220 | 8,797,556 | 9,593,776 |
| 災 害 対 策 基 金 | 8,667,827 | 86 | 8,667,913 |
| 市 民 協 働 推 進 基 金 | 508,054 | △49,887 | 458,167 |
| 久 保 奨 学 金 基 金 | 131,800,399 | 17,633,313 | 149,433,712 |
| 里 地 里 山 保 全 等 促 進 基 金 | 19,240,911 | 2,477,836 | 21,718,747 |
| 久 保 子 ど も の 未 来 応 援 基 金 | 86,517,867 | △4,368,756 | 82,149,111 |
| 学 校 施 設 整 備 基 金 | 0 | 2,400,001,418 | 2,400,001,418 |
| 合 計 | 28,984,133,819 | 2,274,631,047 | 31,258,764,866 |

令和3年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金) 29,272,000円

令和3年度出納整理期間中の一般会計への繰入額(久保子どもの未来応援基金) △274,428円

令和3年度出納整理期間中の介護保険事業特別会計への戻入額(介護保険事業基金)
△300,000,000円

令和4年度出納整理期間中の一般会計からの積立額(財政調整基金) 18,584,000円

令和4年度出納整理期間中の一般会計への繰入額(久保子どもの未来応援基金) △280,050円

令和4年度出納整理期間中の一般会計への繰入額(松川サク工業振興基金) △278,454円

令和4年度出納整理期間中の国民健康保険事業特別会計への繰入額(国民健康保険事業基金)
△150,000,000円

資金積立基金の決算年度末現在高は、前年度末現在高より2,274,631,047円(7.8%)増加している。

第8 定額資金運用基金運用状況

地方自治法第241条第5項の定額資金運用基金運用状況は、次のとおりである。

1 出産費用貸付基金

(単位：円)

| 区分 | 年度 | 前年度末 現在高 | 本年度運用状況 | | 決算年度末 現在高 |
|----|-----|-------------|---------|---|--------------|
| | | | 増 | 減 | |
| 現 | 金 | 449,000 | 4 | 4 | 449,000 |
| 貸 | 付 金 | 150,000 | 0 | 0 | 150,000 |
| 合 | 計 | 599,000 | 4 | 4 | 599,000 |

本基金は、市内に住所を有するなど一定の要件を満たす者が出産した場合において、その世帯の生活の安定と福祉の増進を図るため、当該世帯に貸し付けるためのものである。

定額資金運用基金の決算年度末現在高は599,000円で、前年度と同様である。

む す び

令和4年度一般会計・特別会計歳入歳出決算等の審査の概要は、以上述べたとおりである。

現在、我が国の経済は、令和5年7月内閣府「月例経済報告」において、「景気は、緩やかに回復している。」とし、「先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」としている。

本市における財政状況を見ると、一般会計及び特別会計を合わせた実質収支額は5,822,392,659円、単年度収支額は30,478,328円の赤字となった。

一般会計の歳入決算額は106,087,113,443円となり、前年度と比較すると、2,824,467,041円(2.7%)増加した。なお、財源の根幹をなす市税については2,537,943,359円(5.7%)増加となった。これは主に法人市民税の増加によるものである。

また、歳出決算額は100,521,107,813円となり前年度と比較すると3,136,081,984円(3.2%)増加した。

令和4年度は、少子高齢化の更なる進展や公共施設の老朽化に伴い、社会保障経費や維持補修費が増大する中、財政健全化の取組を進めながら、新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格や物価高騰による社会的な影響に伴う様々な施策や給付金等による市民や事業者への支援など、前年度に引き続き、その都度補正予算で適時迅速な対応を行ったことは大いに評価できるものである。

自主財源については、市税や繰入金が増加となったことなどから、前年度と比較すると5,250,929,185円(8.9%)増加した。

一方、依存財源については、市債や県支出金などが増加しているが、国庫支出金などが減少したことから、前年度と比較すると2,426,462,144円(5.5%)減少した。

この結果、自主財源比率は60.7%となった。

財政力の強弱を示す財政力指数は1.18となり、前年度と比較すると0.02ポイント低下した。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は88.4%となり、前年度と比較すると2.4ポイント低下した。財政運営の健全性を表す実質収支比率は10.5%となり、前年度と比較すると0.9ポイント低下した。また、健全化判断比率については、各比率とも早期健全化基準を大きく下回るなど、本市の財政の健全性は引き続き保たれているといえる。

国は令和5年5月8日をもって新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを2類相当から季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げ、市民生活や市内経済はコロナ禍以前の状況に戻りつつあり、現在、令和3年4月にスタートした第10次総合計画を着実に推進し、県央姉妹都市構想をはじめ、子育て・教育で選ばれるまちの実現、福祉の充実による住みやすいまちの実現、スポーツ・文

化芸術・歴史の聖地の実現等を重点施策に掲げ、市民一人一人が誇りを感じられる魅力あふれるまちの実現に向け、積極的に取り組んでいる。

今後、社会保障経費の更なる増加や新たな財政需要が見込まれる中、引き続き自主自立した財政運営を維持していくため、都市基盤整備や公共施設の適切な維持管理など、より一層、効率的な行財政運営を図っていくことが求められる。前述したように、本市の財政の健全性は保たれている状況にあるが、職員一人一人が前例踏襲にとらわれることなく事業の見直しや更なる歳入の確保に取り組み、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう健全な財政運営に努められることを望むものである。